

令和2年度

# 当別町の教育



(当別町一体型義務教育学校 令和4年度開校予定)

当別町教育委員会

# 目 次

教育目標	.....1
教育大綱	.....2

## 令和2年度の教育

### 【教育計画・予算】

1 小中一貫教育	.....4
2 当別町教育推進計画	.....5
3 学力向上プラン	.....6
4 体力向上プラン	.....7
5 コミュニティ・スクール（CS）	.....8
6 教育予算	.....9

### 【学校教育】

1 重点目標	.....13
2 小中学校現況	
(1) 児童生徒・教職員数	.....13
(2) 各学校概況	
当別小学校	.....14
当別中学校	.....16
西当別小学校	.....18
西当別中学校	.....20
3 小中一貫教育	.....22
4 学校給食	.....24
5 保護者支援制度（学校教育）	
(1) 就学援助	.....25
(2) 特別支援教育就学奨励費	.....26
(3) 特別支援学級等通学援助費	.....26

### 【社会教育】

1 重点目標	.....27
2 社会教育関係事業	
(1) 学校教育との連携事業	.....27
(2) 生涯学習推進事業	.....29

(3) 読書活動推進事業	.....30
(4) 生涯スポーツ推進事業	.....31
3 社会教育施設	
(1) コミュニティーセンター・文化施設等	.....32
(2) 体育施設	.....33

### 【子育て・幼児教育】

1 重点目標	.....34
2 子育て・幼児教育関係事業	
(1) 特別保育事業	.....34
(2) 子ども発達支援センター事業	.....35
(3) 学童保育事業	.....36
(4) 子育て支援事業	.....36
3 子育て・幼児教育施設	.....37
4 保護者支援制度（子育て・幼児教育）	
(1) 就園援助事業助成費	.....37
(2) 教育・保育施設等助成費	.....37

### 【資料】

1 教育委員	.....38
2 教育委員会組織図及び各課の分掌事務	.....40
3 教育関係各種委員	.....41
(1) 当別町教育支援委員会	
(2) 当別町特別支援教育推進サポート組織	
(3) 当別町いじめ問題調査委員会	
(4) 当別町立学校医・学校歯科医・学校薬剤師	
(5) 当別町学校給食センター運営委員会	
(6) 当別町学校運営協議会	
(7) 当別町文化財調査審議会	
(8) 当別町社会教育委員会	
(9) 当別町子ども読書活動推進委員会	
(10) 当別町スポーツ推進委員会	
(11) 当別町少年指導センター	

(12) 当別町子ども・子育て会議	
(13) 当別町要保護児童対策地域協議会	
4 教育関係各種団体	47
(1) 当別町文化協会加盟団体	
(2) 当別町体育協会加盟団体	
(3) 当別町子ども会育成連合会加盟団体	
(4) 当別町女性団体連絡協議会加盟団体	
5 指定文化財一覧	49
6 教育の沿革	50
7 統計データ	55
(1) 小中学校施設の概況	
(2) 児童生徒数の推移	
(3) 各学校統合年の一覧	
(4) 就学援助の状況	
(5) 特別支援教育就学奨励費の状況	
(6) 特別支援学級等通学援助費の状況	
(7) コミュニティーセンター・文化施設等 及び体育施設利用状況	
(8) 子ども発達支援センター利用状況	
(9) 私立幼稚園助成費	
(10) 教育・保育施設等助成費	

---

# 教育目標・教育大綱

---

1	教育目標	P1
2	教育大綱	P2

---



## 当 別 町 教 育 目 標

強じんな精神とたくましい身体をつくる。

科学的な知識や技能を身につける。

豊かな情操の涵養と文化の創造につとめる。

自主的な判断力と社会的徳性をつちかう。

明るく豊かで住みよい郷土をきずく。

[昭和 3 1 年制定]

## ➤ 2 教育大綱

### 【大綱策定の趣旨】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、地方公共団体は、平成27年4月から教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱（以下、大綱という。）を策定することとなった。この改正をうけ当別町では、平成27年に総合教育会議を開催し大綱を作成したがこの度、終期を迎えたことから、令和元年度の第1回総合教育会議において協議、調整を行い次期大綱を策定した。この大綱に基づき、学校教育や社会教育、子育て教育のさらなる発展を図る。

### 【期 間】

原則として、令和2年4月から令和7年3月までの5年間とする。なお、この期間内において大綱を見直す必要が生じた場合は、総合教育会議において協議する。

### 【関連計画】

当別町第6次総合計画（令和2年4月から概ね10年間）



教育大綱（令和2年4月から令和7年3月まで）



当別町教育基本計画（令和2年4月から令和7年3月まで）



各年度の推進計画

学校教育  
社会教育  
子ども未来

### 【基本理念】

#### 1 目指す人間像「社会を背負う、世界にも通用する『知・徳・体』を備えた人」の育成

変化の激しい時代を生きる子どもたちに、基礎基本をしっかり身につけさせそれらをもとに思考力、判断力を磨き、主体性をもって多様な人々と協働し、自らの手で自らの人生を切り拓いていける力をつける教育を実践する。

#### 2 幸せを実感できる生涯学習社会の実現

すべての町民が「住んでよかった町 当別」を実感できるよう、学習・文化活動・スポーツに親しむことのできる環境づくりを行う。

### 【基本方針】

#### 学校教育

義務教育学校及び併設型を基軸とした9年間の切れ目のない一貫教育を実践する。それにより徹底した基礎学力の定着、自らの夢や目標を自らの手で切り拓いていける力、世界で活躍するためのツールとしての英語力、強い心と体など、世界に通用する人となるための確固たる基礎を作る。

また、その学びは「連続性のある多様な学び」であり、特別な支援を要する子どもたちも共に成長する教育である。

##### 1 確かな学力

主体的・対話的で深い学びにより、将来の夢や希望を実現するために必要な学力を育成する。

##### 2 豊かな人間性（心）

自分を大切に、人を大切に、ふるさとを大切にする心を全教育活動を通じて育成する。

### 3 健全な心身

自分を支える基本である健全な身体を、全教育活動を通じて育成する。

### 4 地域と共にある学校

地域の人材を教育に取り込みながら、地域の活性化につながる教育活動を実践する。

### 5 教育環境の整備

義務教育学校設立をはじめ、ICT など教育環境の整備を図る。

## 子ども未来

子どもの健やかな成長のため、保護者や地域と一体となった施策を行う。また、幼児教育と義務教育の接続の充実を図り一貫教育につなげる。

#### 1 子育て支援

子育て世代の交流促進など、子育てしやすい環境の充実を図る。

#### 2 子どもの安全・安心な環境づくり

放課後児童健全育成事業の活動内容や保育サービスの多様化を図る。

#### 3 認定こども園との連携

教育課程編成・実施への助言や支援を図る。

#### 4 幼児教育と小学校との接続

就学に向けた接続プログラムの充実を図る。

#### 5 子ども発達支援センター機能

多様なニーズに対応した支援プログラムの充実を図る。

## 社会教育

子ども達をはじめ、すべての町民が幸せを感じることでできる生涯学習を実践する。また、入植以来 150 年の中で培ってきた当別町の文化や歴史を通じて、ふるさとを愛する心を育む。

#### 1 魅力ある学習プログラム

ライフステージに応じた新たなプログラムを開発する。

#### 2 文化・芸術・スポーツ

超少子・高齢化社会に対応した文化・芸術・スポーツを展開する。

#### 3 歴史・文化財産の保存と活用

当別開拓の歴史を後世に伝え、新しい時代に生かす活動を展開する。

#### 4 児童・生徒・家庭に対する支援

地域の教育力を活用した学習支援や多様な体験活動の充実を図る。

#### 5 図書館機能の向上

読書活動活性化のための多様なサービスを実践する。

---

# 教育計画・予算

---

1	小中一貫教育	P4
2	当別町教育推進計画	P5
3	当別町学力向上プラン	P6
4	当別町体力向上プラン	P7
5	コミュニティ・スクール（CS）	P8
6	教育予算	P9～12

---



➤ 1 小中一貫教育（平成29年4月より小中一貫型小学校・中学校として2小2中間で開始）

「当別町小中一貫教育に関する取組基本方針」（平成27年3月制定）

小 中 一 貫 教 育 の 目 的

- 「発達段階を考慮し、義務教育9年間を見通した教育課程の構築」と「小・中学校教員それぞれが、義務教育9年間で児童生徒を育てる」という考えの下、小中一貫教育を実践していくことで、それぞれの学校での指導の効果を高め、社会で自立して生きていく上で必要な学力や体力、望ましい生活習慣や規範意識を確実に身に付けさせる。
- 家庭や地域と連携して、組織的・継続的な学校支援体制をつくることで、「家庭」、「地域」、さらに「学校」の教育力を高め、地域全体で子どもたちの9年間の学びを支えるまちづくりを実践する。

小中一貫教育でめざす方向性

めざす人間像

社会を背負う、世界にも通用する「知・徳・体」を備えた人

めざす児童生徒像

- 基礎基本と発展的学力、自ら学ぶ意欲 ～将来の夢や希望を実現するために努力し、行動できる子ども～
- 豊かな人間性 ～自分を大切に、人を大切に、未来を見つめ当別を大切に出来る子ども～
- 健全な心身 ～未来の当別を支える健全な心身を持つ子ども～
- コミュニケーション能力 ～自分の考えや思いを伝え、また聞くことで、積極的に人間関係を築く力を持つ子ども～
- プレゼンテーション能力 ～あらゆる場面で自分の考えを自分の言葉で表現できる子ども～
- 当別が好きな子ども

めざす学校像

- 上位の学校へのスムーズな移行や、「ずれ」や「逆転」のないスムーズな学年移行が可能となる教育を行う学校
- その学年で付けるべき力を全員に付けさせることができる学校
- 地域や保護者の思いが生かされ共に歩める学校
- 魅力が体感できる教育環境の下、先進的な取組を進める学校

めざす地域像

- 学校がまちづくりの核である地域
- 家庭教育や学校教育を支援し、共に育む環境のある地域
- 子どもたちと人々の心温まるふれあいのある地域
- 地域の誇りや愛着の心を子どもたちに伝えていく地域

※令和2年度 of 取組みは、P22・23を参照

今後の方向性

令和4年4月 当別地区に一体型義務教育学校開校

【開校に向けての各種委員会設置】

- 「建設検討委員会」（平成30年10月設置）  
（検討事項：建設全般、設計受託業者との調整・協議に関する事項等）
- 「開校準備委員会」（令和元年5月設置）  
（検討事項：校名、校訓、校則、式典事業、新校舎移転計画に関する事項等）
- 「教育課程編成委員会」（令和元年5月設置）  
（検討事項：教育課程の編成、学校行事、児童生徒諸活動に関する事項等）

(確かな学力) (豊かな心) (健やかな体)

めざす人間像

つけさせたい力と  
めざす児童生徒像

～社会を背負う、世界にも通用する「知・徳・体」を備えた人～

- 基礎基本に基づき発展的学力、自ら学ぶ意欲 ～夢や希望を実現するため努力し、行動できる子ども～
- 豊かな人間性 ～自分を大切に人を大切に、未来に向かって行ける子ども～
- 健全な心身 ～全ての基盤となる強い心と心を持った子ども～
- コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力 ～自分で考え自分の言葉で伝え、相手の意見に耳を傾け、人間関係を築ける子ども～
- 当別が好きな子ども ～当別に誇りを持ち、どこにいても当別を応援する子ども～

令和2年度

一貫教育の重点

- 小中一貫した教科指導の充実（主体的・対話的で深い学び、教科系統表活用）
- 新学習指導要領対応（小学校の遅滞ない実行、中学校移行準備）
- 学校間のさらなる協働（学習規律、行事、いじめ対策等）
- 学校運営協議会の活性化（児童生徒の生活習慣改善）

学 校 教 育	重点目標	【重点1】 確かな学力の育成（知） 「将来の夢や希望を実現するために必要な学力」を主体的・対話的で深い学びにより、全教育活動を通じて育成する。	【重点2】 豊かな心の育成（徳） 「自分を大切に、人を大切に、ふるさとを大切に」する心」を通じて育成する。	【重点3】 健やかな体の育成（体） 「自分を支える基本である健全な体」を全教育活動を通じて育成する。
	具体的取組	1 一貫した教育課程の編成及び小学校新学習指導要領の完全実施 2 小学校教科担任制の試行（一貫教育推進講師等の活用） 3 授業改善 ① 「主体的・対話的で深い学び」の相点を取り入れた授業実施 ② 小学校授業改善推進チーム（チームJ）の成果活用と中学校への波及 ③ 学習規律の徹底 ④ 一貫教育推進講師の配置（英語・算数・数学、各2名） ⑤ 小学校教科外国語全授業ALT配置 (小学2名配置 865時間 中学1名配置 108時間) 4 三課横断「学力向上対策」(放課後学習会、土曜教室、土曜学習会、ブレイハウス)	1 教科道徳の円滑な実施 2 一貫した生徒指導の推進 ① 児童生徒の小・中学校間の共通理解 ② 小中合同事業の開催（児童会や生徒会共催、ボランティア活動、芸術鑑賞等） 3 読書活動推進（学校図書館の活用） 4 三課横断「心の育成事業」(通学合宿、合同道徳、ブレイハウス、多世代交流事業、文化祭等)	1 一貫した体力向上プラン 2 高等教育機関との連携 ① 北海道医療大学との連携（歯科検診、フッ化物洗口、がん予防教育、ピロリ菌検査） ② 日本体育大学との連携 3 安心安全な給食の提供 ① 当別高校と連携したメニュー開発 ② 地場産食材の活用
	達成指標	全国学力・学習状況調査や各検査結果全国平均以上	いじめゼロ	全国体力調査、体力総合得点全国平均以上
	学校支援	▶当別高等学校、ことぶき大学、食生活改善協議会等町内各団体との連携 ▶教職員の働き方改善 ▶ストレスチェックの実施		
	課 題	●小中一貫教育の推進 ●一類型義務教育学校開校準備 ●教職員の長時間勤務の改善 ●認定こども園との接続の在り方 ●当別町150年関係		
子 育 て 支 援 ・ 幼 児 教 育	重点目標	【重点1】 子育て支援の充実と幼児教育・保育の充実	【重点2】 社会全体で子どもを守る体制の構築	
	具体的取組	1 就園援助事業の実施 2 保育士等就労支援事業の実施 3 幼保・小間接続プログラムの実施 4 三課横断「子育て支援事業」の実施	1 児童虐待防止のための学校や各機関との連携 2 子どもブレイハウスの充実（自主学習、運動習慣の定着）	
	達成指標	待機児童ゼロ	児童虐待及び一時保護事案ゼロ	
社 会 教 育	課 題	●保育士の安定的な確保 ●子育て環境の充実－就園援助の拡大、保育料無償化の拡大（3歳児以下の第2子） ●接続プログラムの検証と改善		
	重点目標	【重点1】 多彩な生涯学習プログラムの展開	【重点2】 三課横断「児童生徒、学校及び家庭支援」	【重点3】 読書活動の推進
	具体的取組	1 地域や当別高校、北海道医療大学、日本体育大学、指定管理者との連携及び人材活用 2 歴史・文化プロジェクトによる古文書解析 3 多世代交流事業（高齢者の生きがいづくり）の推進	1 小学校、中学校の授業への講師派遣 2 土曜教室の充実（地域巡検の実施） 3 多世代交流事業（伝統文化の継承、子育て支援）	1 子どもの読書活動推進 2 司書による図書館及び学校図書館の活性化
	達成指標	ことぶき大学各事業参加率70%以上	学校要望100%、家庭学習習慣全国平均以上	児童生徒一人当たりの貸出図書数の増
	課 題	●各団体への若年層の参加促進 ●社会教育施設整備 ●図書室から図書館への移行に伴う整備		

- 《基本方針》
- 小中一貫教育による確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成
  - 小学校新学習要領の遅滞ない実行と中学校新学習指導要領移行への最終準備

- 《基本方針》
- 子どもへの健やかな成長のための子育て支援
  - 幼児教育と義務教育の円滑な接続

- 《基本方針》
- 子どもをはじめ、全ての町民が幸せを実感できる生涯学習社会の実現

品検評価

- 教育委員会は、自己点検・評価を行い、事務事業評価を行い外部による点検・評価を受ける。
- 学校は、各校で自己点検・評価を行い、さらに学校運営協議会評価部会による評価を受ける。

学 校 経 営 計 画

➤ 3 令和2年度当別町学力向上プラン

【目標】全国学力・学習状況調査で全教科正答率を全国平均より  
10ポイント上回る



【現状と課題】

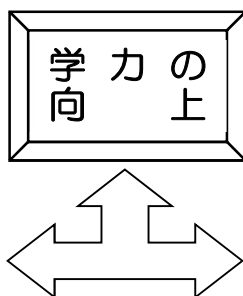
- 小学校では、国語、算数の正答率が、全国平均を上回ることができた。さらなる授業改善を進めて学力向上を確かなものにする。
- 中学校では、国語、数学の平均正答率で全国平均を上回ることができた。小学校からの積み上げをしっかりと行い一層の学力向上を図っていく。



【具体的な方策】

学 校

- 「主体的、対話的で深い学び」のアクティブラーニングの視点を取り入れた授業の工夫
- 指導内容の連続性や系統性を重視した教育課程の工夫改善
- 学校改善プランの着実な実践
- チームJを積極的に活用した授業改善の推進
- 学習規律の徹底を柱とした支持的風土づくり
- 家庭学習の定着と内容の工夫
- 一貫教育推進講師の効果的な活用
- 小中の研究計画を9年間見通し、合同研究・合同研修の実施
- メンターを取り入れた校内研修の一層の充実
- 教師の働き方改革に即応した業務の効率的な処理



教育委員会

- 「主体的、対話的で深い学び」のアクティブラーニングの視点を取り入れた授業方法の指導・助言
- 小中一貫教育の推進
- 小中一貫教育推進講師の配置
- 小中の乗り入れ授業の指導
- ICT機器の整備と活用
- 指導工夫改善に関わる指導
- 放課後学習会や土曜学習会の充実
- 長期休業中の学習支援の充実
- 読書活動の充実
- コミュニティ・スクールの活用・支援
- 緊喫の教育課題に即応した研修内容の充実
- 業務の効率化に有効な校務支援システムの活用

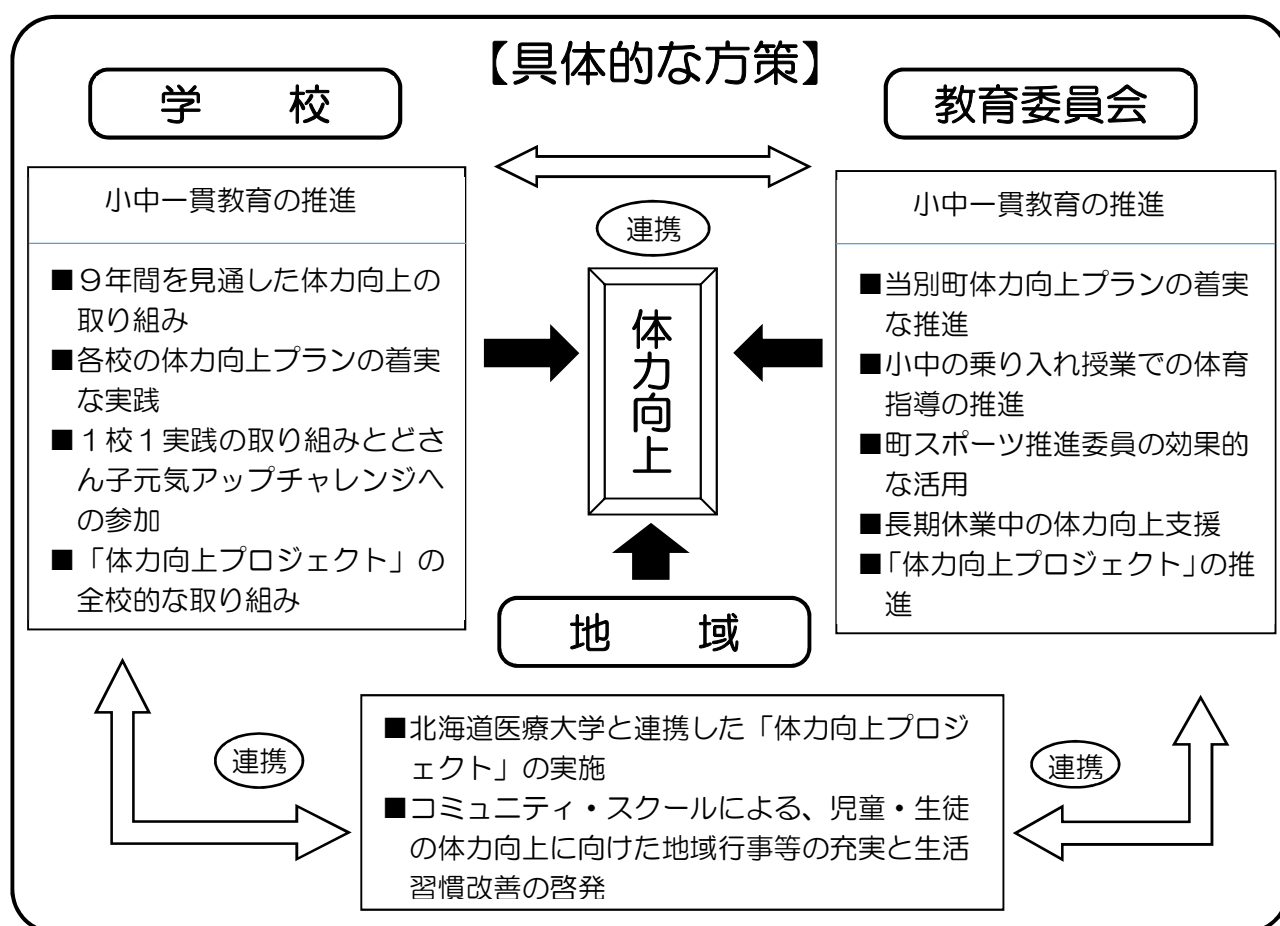
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施	←改善プランの実践→			結果分析	←改善プランの見直し・実践→						

## ➤ 4 令和2年度当別町体力向上プラン

【目標】全国体力・運動能力、運動習慣等調査で体力合計点の全国平均以上をめざす

### 【課題】

- 小学校男子と中学生男女の体力合計点が全国を下回っており、とりわけ小学生男子の落ち込みが大きい。
- 小・中学校ともに、家でのテレビやDVD、ゲーム機、携帯、パソコンなどの画面を見ている時間が、全国平均を大きく上回っていることから、生活習慣の改善が喫緊の課題である。

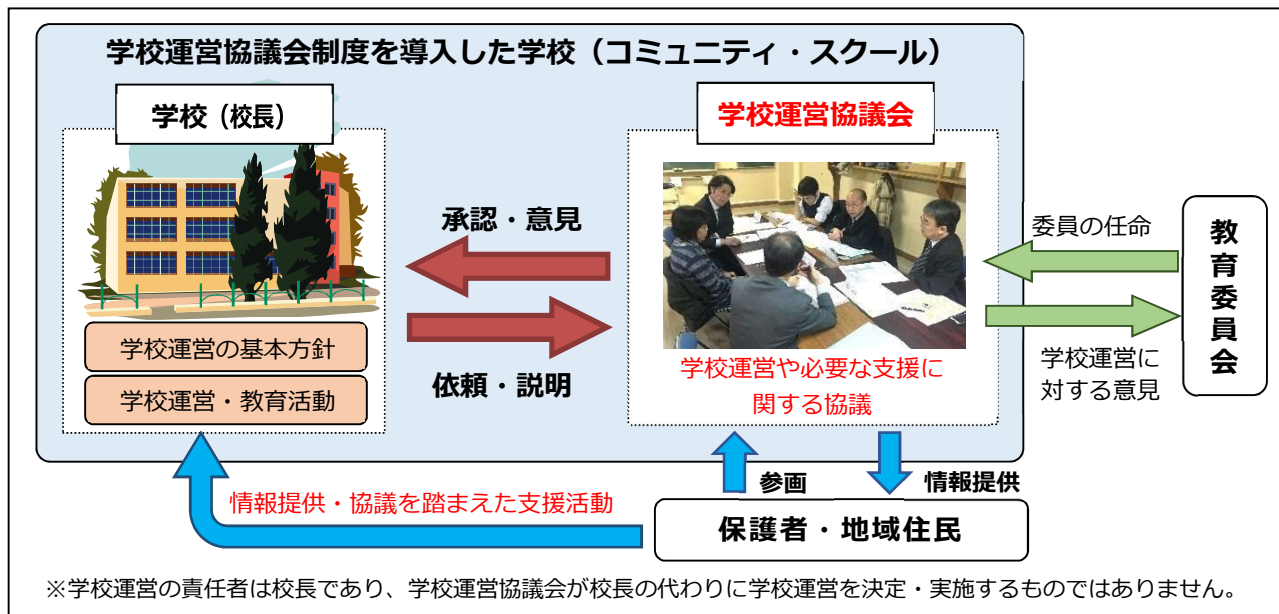


### 【年間計画】

月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
学校	各学校の体力向上プランの見直し	準備	体力調査実施	結果分析・評価								
教委	体力向上プラン作成	学校への支援									結果分析・評価	

## 地域とともにある学校＝学校運営協議会設置校（CS）

学校運営協議会は、任命された保護者や地域の方々が一定の権限を持って学校運営に参画する組織で「地域とともにある学校」づくりを推進します。



## 義務教育 9 年間の学びの充実のために

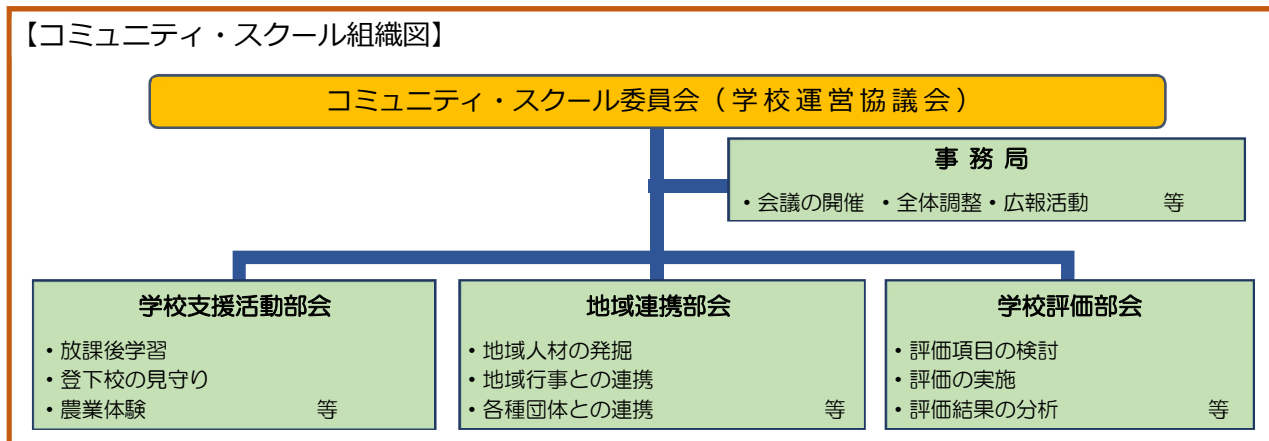
小中一貫教育の充実のためには、教育課程だけでなく、子どもたちの家庭や地域の中での学び、発達段階に応じた心の成長等も一緒に考える必要があります。そこで、保護者や地域住民と子どもたちの義務教育 9 年間について話し合う場の設置が必要です。

学校運営協議会では、小中一貫教育を地域全体で支えるため、学校支援に関する方向づけや調整等の協議を行うことで、学校運営全般への参画を促します。

当別町では、平成 29 年度に各中学校区（当別地区・西当別地区）に学校運営協議会を設置しました。基本的な活動として以下の 3 点を行いながら、学校支援活動や地域連携活動等、段階的に発展させ、「地域とともにある学校」を作ります。

- (1) 「学校運営に関する基本方針」承認
- (2) 学校運営についての意見
- (3) 学校評価

### 【コミュニティ・スクール組織図】

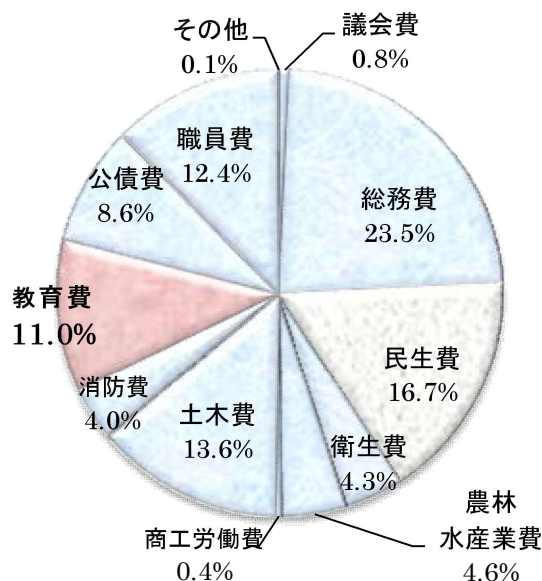




## ➤ 6 教育予算

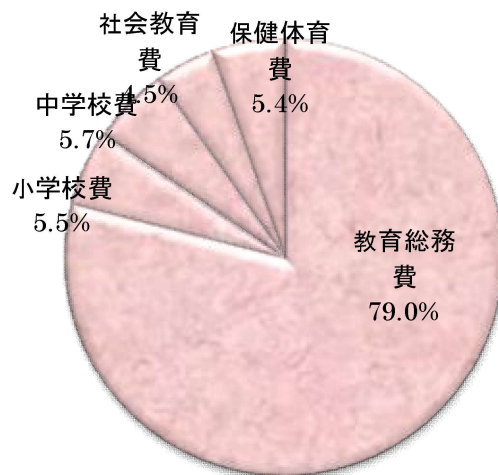
### 1 令和2年度 一般会計当初予算額 121億4,844万円

区分	金額（千円）	構成比（％）
議会費	90,355	0.8
総務費	2,849,879	23.5
民生費	2,028,467	16.7
衛生費	524,118	4.3
農林水産業費	563,053	4.6
商工労働費	53,210	0.4
土木費	1,655,125	13.6
消防費	486,086	4.0
教育費	1,340,830	11.0
公債費	1,043,760	8.6
職員費	1,508,550	12.4
その他	5,000	0.1
総額	12,148,438	100



### 2 令和2年度 教育費当初予算額 13億4,083万円

区分	金額（千円）	構成比（％）
教育総務費	1,058,971	79.0
小学校費	74,150	5.5
中学校費	75,794	5.7
社会教育費	59,936	4.5
保健体育費	71,979	5.4
総額	1,340,830	100



(参考)

民生費当初予算額（子ども未来課所管分）

区分	金額（千円）
児童福祉費	386,170

### 3 教育予算の推移

年度	一般会計予算	増減率	教育費予算	増減率	構成比
平成28年度	8,761,182	▲7.0	464,729	4.7	5.3
平成29年度	9,347,897	6.7	461,228	▲0.8	4.9
平成30年度	9,249,051	▲1.1	513,781	11.4	5.6
令和元年度	10,340,207	11.8	511,630	▲0.4	4.9
令和2年度	12,148,438	17.5	1,340,830	162.0	11.0

※各年度当初予算額

## 4 主な事業

### 【学校教育課所管】

#### 当別町一体型義務教育学校建設事業（新規）（860,128 千円）

令和 4 年度開校に向け、当別町一体型義務教育学校建設工事を行う。

#### 西当別中学校校舎屋上防水工事（新規）（13,576 千円）

老朽化している学校施設の教育環境改善のため、西当別中学校校舎屋上防水工事を行う。

#### 小中一貫教育推進事業（継続）（11,816 千円）

児童生徒の学びの連続性を確保するため、「一貫教育推進講師（非常勤）」（英語 2 名、算数（数学）2 名）を各中学校区に配置し、小学校及び中学校での教科指導を実践し、学力の向上を図る。

また、小学校高学年の中学校登校、中学校教員の小学校への乗り入れ授業や、日本体育大学と連携した教職員研修等、児童生徒・教職員の交流の促進や教職員の資質向上に向けた取組を通じて、「小中一貫教育でめざす人間像」である「社会を背負う、世界にも通用する『知・徳・体』を備えた人材」の育成を図るとともに、また、一体型義務教育学校の開校に向け、校歌・校章の制作に係る業務を行う。

#### 特別支援教育支援員配置事業（継続）（16,700 千円）

小・中学校の通常学級に在籍する児童生徒のうち、特別な支援を必要とする児童生徒に対し、個別の声掛けや学習支援を行うため、すべての小・中学校に「特別支援教育支援員」を 2 名ずつ配置し、個々の基礎学力の定着を図り、学習環境の充実を図る。

#### コミュニティ・スクール運営事業（継続）（792 千円）

小中一貫教育を地域全体で進めるため、学校・保護者・地域住民等で構成する「学校運営協議会」（コミュニティ・スクール）による「地域とともにある学校」づくりを推進する。

#### 小中学校芸術鑑賞事業（継続）（500 千円）

児童生徒の豊かな感性と創造性・思考力・コミュニケーション能力等の育成を図るため、小中学校合同で芸術鑑賞を行う。

#### 各小中学校英会話指導助手配置事業（継続）（7,504 千円）

英語教育の充実のため、小学校と中学校の全学年に外国人講師による英会話指導助手を派遣する。また、令和 2 年度から新たな学習指導要領が実施されることに伴い、小学校 5・6 年生の外国語教育が教科化されることを見据え、町の独自施策として、授業時数及び内容を先行実施しており、引き続き外国人講師 3 人による英会話指導助手を、小学校 1・2 年生に年間 10 時間、小学校 3・4 年生に年間 35 時間、小学校 5・6 年生に年間 70 時間、中学生には年間 9 時間派遣する。

#### 学校給食センター改修事業（継続）（10,241 千円）

厨房設備を計画的に改修することにより、町内小中学校の児童生徒へ安定した給食を提供する。

【社会教育課所管】

ふくろう図書館内部改修 （新規）（4,290 千円）

図書館条例制定に伴い、図書館機能と利用者サービスの向上を目的として、施設の空きスペースを有効活用し、開架図書スペース、閲覧スペースを拡大するため、図書館内部を改修する。

学校を核とした地域力強化プラン事業 （継続）（3,425 千円）

学校支援地域本部事業(学校への支援)や児童生徒の自立した学習のための支援事業(放課後学習会や土曜学習会)、英語体験事業(小学生が英語に馴れ親しむ活動)を地域住民の協力により実施する。事業費は、国・道・町がそれぞれ1／3を負担する。

社会体育施設等指定管理事業 （継続）（44,058 千円）

社会体育施設等（当別町総合体育館、白樺コミュニティーセンター、当別小学校水泳プール）の指定管理を継続し、民間の活力により住民サービスの向上を図る。



## 【子ども未来課所管】

### 保育士等就労支援事業 （新規）（2,685 千円）

札幌市を含む近隣自治体では、保育士不足が深刻化しており、町内認定こども園における保育士等の確保策として、保育士業務に従事している職員（常勤保育士等）で、勤務３年ごとに一時金を１０万円を直接支給する事とし、かつ町内居住者には２万円を加算して給付する事により、保育士等の継続雇用促進と町内居住促進を図る。

### 教育・保育施設等給付事業 （継続）（307,028 千円）

子ども・子育て支援法に基づく教育・保育給付として、教育・保育施設等の利用者に対し費用の一部を負担することにより利用の促進へと繋がり、幼児教育の推進及び教育・保育サービスの充実を図る。

### 多子世帯の保育料軽減支援事業 （継続）（7,193 千円）

平成２９年度から実施している保育施設を利用する３歳未満の第２子に係る保育料無償化事業を継続し、更に第１子カウントの年齢制限を撤廃して第２子の保育料無償化の範囲を拡大し、子育て世帯の経済的負担の軽減及び子どもを産み育てやすい環境の充実を図る。

### 子育て支援センター運営事業 （継続）（3,497 千円）

乳児から就学前の子どもと保護者を対象に、子育て世代の交流、子育て関連情報の提供、子育て相談、多世代との交流等を推進することで、子育て家庭に寄り添いながら子育ての不安感の緩和や子どもの健やかな育ちを支援する。

### 子ども発達支援センター運営事業 （継続）（20,294 千円）

心身の発達に特性を持つ児童に対し、利用者の多様なニーズ、生活環境及び対象児童の特質に配慮した療育の提示、指導等の療育支援を行うほか、関係機関等とも連携し効果的な支援体制の構築に努め、早期療育の推進と強化を図る。

### 放課後児童対策事業（子どもプレイハウス） （継続）（20,529 千円）

就労等の理由により家庭に保護者のいない小学生に対し、放課後、長期休業日等に安心して過ごすことができる居場所づくりと、遊びや活動の充実及び学習・運動支援の実施により、児童の健全育成及び学力・体力向上を図る。

---

# 学 校 教 育

---

1	重点目標	P13
2	小中学校現況	P13
(1)	当別小学校	P14
(2)	当別中学校	P16
(3)	西当別小学校	P18
(4)	西当別中学校	P20
3	小中一貫教育	P22
4	学校給食	P24
5	保護者支援制度	P25

---

## ➤ 1 重点目標

1 確かな学力の育成（知）

2 豊かな心の育成（徳）

3 健やかな体の育成（体）

※詳細は、P5「当別町教育推進計画」参照

## ➤ 2 小中学校現況

### （1）児童生徒・教職員数

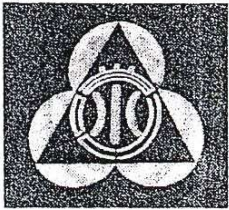
令和2年5月1日現在

区分 学校名		学級数		児童生徒数（人）								教職員数（人）					
		普通	特別支援	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計	校長	教頭	教諭	養護教諭	事務職員	栄養教諭
1	当別小学校	12	3	41	46	38	44	55	64	9	297	1	1	22.5	1	2	1
2	西当別小学校	9	2	25	25	43	35	47	51	3	229	1	1	14	1	1	
小 学 校 計		21	5	66	71	81	79	102	115	12	526	2	2	36.5	2	3	1
1	当別中学校	6	3	49	70	66				4	189	1	1	15	1	1	
2	西当別中学校	6	2	42	42	43				4	131	1	1	15	1	2	
中 学 校 計		12	5	91	112	109				8	320	2	2	30	2	3	
合 計		33	10							20	846	4	4	66.5	4	6	1

※加配事業による教員等の配置について（上記教職員数の内数）

加 配 事 業 名	当 小	西 小	当 中	西 中	合 計
指導方法工夫改善	1	1	1	1	4
通 級 指 導	3				3
授業改善推進チーム活用事業	1	1			2
免許教科外教科担任解消				1	1
主幹教諭	0.5				0.5
専 科 指 導（英 語）			1	1	2
事 務 職 員	1			1	2
少人数学級実践研究事業	1				1
合 計	7.5	2	2	4	15.5

## (2) 各学校概況

当 別 小 学 校 (中学校併設型小学校)																																																																															
校章・所在地	<div>  <div> <p>【校章の意味】</p> <p>中央に当別小の文字。3つの輪は考える〈智〉、明るい〈徳〉、元気な〈体〉の調和を表す。</p> </div> <p>〒061-0222 北海道石狩郡当別町元町 102 番地 電話：0133-23-2102 FAX：0133-23-3760</p> </div>																																																																														
校歌	<div> <p>一</p> <p>紫雲にけぶる 阿蘇の山 麓をめぐる当別の 流れつきせぬ 学びやに 至誠の華は香るなり</p> <p>二</p> <p>由緒も深き 開拓の 先人の意気しのびつつ 心をつくし 身をつくし 誠の道にはげみなん</p> <p>作詞 大橋 義雄 作曲 末武 渉</p> </div>																																																																														
沿革の概要	<table border="0"> <tr> <td>明治 5 年</td><td>鮎田如牛が当別町において開塾</td><td>平成 14 年</td><td>石狩管内教育機器連盟研究大会開催</td></tr> <tr> <td>6 年</td><td>「当別教育所」と改称</td><td>16 年</td><td>石狩管内教育実践奨励表彰受賞</td></tr> <tr> <td>39 年</td><td>校舎現在地移転</td><td></td><td>ことばの教室が通級指導教室となる</td></tr> <tr> <td>43 年</td><td>北海道庁官より教育の俣に対し選賞</td><td>17 年</td><td>オヤジの会発足</td></tr> <tr> <td>大正 9 年</td><td>校舎新築</td><td>22 年</td><td>校舎耐震改修工事</td></tr> <tr> <td>昭和 22 年</td><td>6・3 制により「当別小学校」と改称</td><td>24 年</td><td>体育館改築</td></tr> <tr> <td>39 年</td><td>特殊学級「いなほ」1 学級認可</td><td></td><td>開校 140 周年記念事業 (全校集合写真・記念バザー・ 記念集会・記念誌作成)</td></tr> <tr> <td>41 年</td><td>石狩教育研究会特別活動中心校指定 プール完成 (当別学校プール 1 号)</td><td></td><td>当別地区プレイハウスが当別小学校 内へ移転</td></tr> <tr> <td>44 年</td><td>体育館完成</td><td>25 年</td><td>北校舎トイレ改修工事</td></tr> <tr> <td>47 年</td><td>新校舎完成、落成式举行 開校 100 周年記念式典举行、 記念公開研究会開催、 記念事業協賛会より中庭造成寄贈</td><td>27 年</td><td>電子黒板・書画カメラ設置 当教研学校課題研究発表会</td></tr> <tr> <td>52 年</td><td>学校基本調査について文部大臣表彰</td><td>28 年</td><td>弁華別小学校閉校により本校に統合</td></tr> <tr> <td>53 年</td><td>学校の教育目標改訂</td><td>29 年</td><td>小中一貫教育開始</td></tr> <tr> <td>57 年</td><td>創立 110 周年記念式典举行、 PTA 記念事業により遊具施設設置</td><td></td><td>全国書道コンクール団体優勝 (17 年連続 28 回目)</td></tr> <tr> <td>58 年</td><td>石狩地区小学校放送教育研究指定校</td><td></td><td>全国学生書道展覧会団体優勝 (23 年連続 33 回目)</td></tr> <tr> <td>59 年</td><td>石狩管内教育実践表彰受賞 石狩地区小中学校放送教育研究大会開催</td><td>30 年</td><td>全国書道コンクール団体優勝 (18 年連続 29 回目)</td></tr> <tr> <td>63 年</td><td>「ことばの教室」1 学級認可</td><td></td><td>当別教育功績表彰受賞</td></tr> <tr> <td>平成 8 年</td><td>学校給食開始</td><td>令和 元年</td><td>全国書道コンクール団体優勝 (19 年連続 30 回目)</td></tr> <tr> <td>12 年</td><td>コンピュータ教室設置</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>14 年</td><td>開校 130 周年記念写真集作成</td><td></td><td></td></tr> </table>			明治 5 年	鮎田如牛が当別町において開塾	平成 14 年	石狩管内教育機器連盟研究大会開催	6 年	「当別教育所」と改称	16 年	石狩管内教育実践奨励表彰受賞	39 年	校舎現在地移転		ことばの教室が通級指導教室となる	43 年	北海道庁官より教育の俣に対し選賞	17 年	オヤジの会発足	大正 9 年	校舎新築	22 年	校舎耐震改修工事	昭和 22 年	6・3 制により「当別小学校」と改称	24 年	体育館改築	39 年	特殊学級「いなほ」1 学級認可		開校 140 周年記念事業 (全校集合写真・記念バザー・ 記念集会・記念誌作成)	41 年	石狩教育研究会特別活動中心校指定 プール完成 (当別学校プール 1 号)		当別地区プレイハウスが当別小学校 内へ移転	44 年	体育館完成	25 年	北校舎トイレ改修工事	47 年	新校舎完成、落成式举行 開校 100 周年記念式典举行、 記念公開研究会開催、 記念事業協賛会より中庭造成寄贈	27 年	電子黒板・書画カメラ設置 当教研学校課題研究発表会	52 年	学校基本調査について文部大臣表彰	28 年	弁華別小学校閉校により本校に統合	53 年	学校の教育目標改訂	29 年	小中一貫教育開始	57 年	創立 110 周年記念式典举行、 PTA 記念事業により遊具施設設置		全国書道コンクール団体優勝 (17 年連続 28 回目)	58 年	石狩地区小学校放送教育研究指定校		全国学生書道展覧会団体優勝 (23 年連続 33 回目)	59 年	石狩管内教育実践表彰受賞 石狩地区小中学校放送教育研究大会開催	30 年	全国書道コンクール団体優勝 (18 年連続 29 回目)	63 年	「ことばの教室」1 学級認可		当別教育功績表彰受賞	平成 8 年	学校給食開始	令和 元年	全国書道コンクール団体優勝 (19 年連続 30 回目)	12 年	コンピュータ教室設置			14 年	開校 130 周年記念写真集作成		
明治 5 年	鮎田如牛が当別町において開塾	平成 14 年	石狩管内教育機器連盟研究大会開催																																																																												
6 年	「当別教育所」と改称	16 年	石狩管内教育実践奨励表彰受賞																																																																												
39 年	校舎現在地移転		ことばの教室が通級指導教室となる																																																																												
43 年	北海道庁官より教育の俣に対し選賞	17 年	オヤジの会発足																																																																												
大正 9 年	校舎新築	22 年	校舎耐震改修工事																																																																												
昭和 22 年	6・3 制により「当別小学校」と改称	24 年	体育館改築																																																																												
39 年	特殊学級「いなほ」1 学級認可		開校 140 周年記念事業 (全校集合写真・記念バザー・ 記念集会・記念誌作成)																																																																												
41 年	石狩教育研究会特別活動中心校指定 プール完成 (当別学校プール 1 号)		当別地区プレイハウスが当別小学校 内へ移転																																																																												
44 年	体育館完成	25 年	北校舎トイレ改修工事																																																																												
47 年	新校舎完成、落成式举行 開校 100 周年記念式典举行、 記念公開研究会開催、 記念事業協賛会より中庭造成寄贈	27 年	電子黒板・書画カメラ設置 当教研学校課題研究発表会																																																																												
52 年	学校基本調査について文部大臣表彰	28 年	弁華別小学校閉校により本校に統合																																																																												
53 年	学校の教育目標改訂	29 年	小中一貫教育開始																																																																												
57 年	創立 110 周年記念式典举行、 PTA 記念事業により遊具施設設置		全国書道コンクール団体優勝 (17 年連続 28 回目)																																																																												
58 年	石狩地区小学校放送教育研究指定校		全国学生書道展覧会団体優勝 (23 年連続 33 回目)																																																																												
59 年	石狩管内教育実践表彰受賞 石狩地区小中学校放送教育研究大会開催	30 年	全国書道コンクール団体優勝 (18 年連続 29 回目)																																																																												
63 年	「ことばの教室」1 学級認可		当別教育功績表彰受賞																																																																												
平成 8 年	学校給食開始	令和 元年	全国書道コンクール団体優勝 (19 年連続 30 回目)																																																																												
12 年	コンピュータ教室設置																																																																														
14 年	開校 130 周年記念写真集作成																																																																														
教育目標	<p>一人一人の子どもを大事にし、大事にされ合う人間関係の中で、平和で幸福な社会の担い手として、小中 9 年間を見通した心身の調和のとれた人間性豊かな子どもを育てる。</p> <p>◇ 知性をみがく子ども (よく考える子ども) 〈知〉</p> <p>◇ 心豊かな子ども (心のゆたかな子ども) 〈情〉</p> <p>◇ 意志の強い子ども (さいごまでやりぬく子ども) 〈意〉</p> <p>◇ からだのじょうぶな子ども (強いからだの子ども) 〈体〉</p>																																																																														

経営の重点	「子どもの発達や学びの連続性を踏まえた小中一貫教育の推進」による 確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成 1. 小中一貫教育による確かな学力の定着と向上（知） 2. 個性を伸ばし豊かな人間性・社会性の育成（徳） 3. 命を育む健康・体力の増進、安全教育の推進（体） 4. 学校支援																																													
研究主題	《 研 究 主 題 》  「自律した学びの促進」 ～目的意識を重視した言語活動を通して主体的に学習する児童・生徒の育成～																																													
特色ある教育活動	1 小中9年間を見通した小中一貫教育の取組 小中で目指す児童生徒像の共有化を図りながら、9年間を見通した指導計画の作成、小中合同研修会の開催、乗り入れ授業等の取組を行う。  2 確かな学力の定着・向上の取組 「基礎学力」と「続ける力」を育てるドリカムプロジェクトにより、絶対に身に付けさせる基礎学力を明確化し、全学級で共通した取組を行う。（児童が授業に集中できる学習環境づくり・朝の時間の有効活用・家庭学習の継続的な取組等）  3 読書活動の推進 読み聞かせ・読み語りのボランティアの協力も得ながら読書に親しませることによって、豊かな心を育て、確かな学力の基盤を整える。																																													
学級編制	令和2年5月1日現在 <table><tr><td>学年</td><td>1年</td><td>2年</td><td>3年</td><td>4年</td><td>5年</td><td>6年</td><td>特別支援学級</td><td>合計</td></tr><tr><td>学級数</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>15</td></tr><tr><td>男子</td><td>14</td><td>23</td><td>17</td><td>23</td><td>25</td><td>33</td><td>5</td><td>140</td></tr><tr><td>女子</td><td>27</td><td>23</td><td>21</td><td>21</td><td>30</td><td>31</td><td>4</td><td>157</td></tr><tr><td>合計</td><td>41</td><td>46</td><td>38</td><td>44</td><td>55</td><td>64</td><td>9</td><td>297</td></tr></table>	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計	学級数	2	2	2	2	2	2	3	15	男子	14	23	17	23	25	33	5	140	女子	27	23	21	21	30	31	4	157	合計	41	46	38	44	55	64	9	297
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計																																						
学級数	2	2	2	2	2	2	3	15																																						
男子	14	23	17	23	25	33	5	140																																						
女子	27	23	21	21	30	31	4	157																																						
合計	41	46	38	44	55	64	9	297																																						
教職員	令和2年5月1日現在  校長 昇 洋 一 教頭 若 林 公 一  教職員数 教諭23名 養護教諭1名 栄養教諭1名 事務職員2名 非常勤講師1名 一貫教育推進講師1名 特別支援学級介助員1名 特別支援教育支援員2名 事務嘱託員1名 学校管理人1名																																													

# 当 別 中 学 校 (小学校併設型中学校)

校章・所在地



## 【校章の意味】

当の大文字で囲み、全体を雪の結晶とし、たくましく生きる力を表す。

〒061-0205

北海道石狩郡当別町下川町 125 番地

電話：0133-23-2158 FAX：0133-23-2956

校歌

三 開拓の祖 遠くして  
愛と真の 血を伝う  
男子女子 手を執りて  
結ぶ友垣 誇りあり  
吾ら讃えん ああ我が郷土

二 白雪映える 阿蘇岩の  
高嶺に想う あけくれば  
真理きわめて らんまんの  
花咲かせてん 念願あり  
文化の殿堂 ああ我が学舎

一 緑風匂う 石狩の  
愛の園生に 生い立ちて  
光あたらしき 日の本の  
使命に生きん 祈りあり  
平和の先駆 ああ我が学友

作詞 井上 治雄  
作曲 工藤 定一

沿革の概要

昭和 22 年	当別村立当別中学校が開校	平成 9 年	当別中学校開校 50 周年記念式典
	校章制定	15 年	第 3 回東日本学校吹奏楽コンクール金賞 (C 編成)
25 年	校歌制定		
	独立校舎に移転 (旧競馬場跡)	17 年	除雪ボランティア善行顕彰を受賞
27 年	中小屋分校が独立	19 年	石教研学校課題研究発表
32 年	同窓会発足	20 年	剣道部女子全道大会出場
	開校 10 周年記念式典	21 年	相撲部全道大会準優勝、 剣道部女子全道大会出場
33 年	三番川、四番川分校が独立		
36 年	当別川が氾濫し校舎床上浸水	22 年	相撲部全道大会準優勝 当別町 140 年記念パレード、 記念式典参加
41 年	ときわ学級開設 (特殊学級)		
42 年	開校 20 周年合同記念式典	23 年	校舎・体育館耐震化工事完了 バックネットの改修工事完了
44 年	牛乳給食開始 新校舎完成竣工・移転完了	24 年	JR 学園都市線電化開業記念イベント参加
	スクールバス運行開始	25 年	生徒トイレ改修
48 年	開校 30 周年記念式典	27 年	電子黒板・書画カメラ設置
52 年	校舎改修工事	28 年	弁華別中学校閉校により本校に統合
58 年	石狩管内教育実践奨励賞受賞	29 年	小中一貫教育開始 剣道部全道新人戦準優勝
平成 4 年	学校給食開始		
8 年	スクールカウンセラー配置	30 年	卓球部管内新人戦優勝
9 年		令和 元年	バスケットボール部男子 全道中体連ベスト 8 卓球部男子、陸上部全道中体連出場

教育目標

◇ 真剣に学び 自己を高めよう	【知】	
◇ 協力しあい 責任ある行動をとろう	【徳】	精 神
◇ 自ら実行し 最後までやりぬこう	【意】	「優しく 強く」
◇ 美しいものに感動できる豊かな心をもとう	【徳】	(昭和 63 年制定)
◇ 身体を鍛え たくましくなろう	【体】	

経営の重点	＜今年度の重点目標＞						
	深く考え、主体的・協働的に行動できる生徒の育成						
	＜7つの経営方針と2つの重点目標＞						
	1 信頼と調和のある学校づくりの推進						
	2 生徒の自己実現を図る教育の推進						
	3 基礎・基本の確実な習得と自ら考え、判断し、表現する力を育む教育の推進						
	4 豊かな心と健やかな体を培い、社会性を育む教育の推進 ※重点目標						
	視点（1）学習指導＝確かな学力向上をめざし、創意工夫ある学習指導の充実						
	視点（2）学びの質＝「主体的・対話的で深い学び」の実現						
	視点（3）体験的な学習＝自主的・実践的な態度を育む体験的な学習の充実						
研究主題	5 共生を基盤とした豊かな人間性を育む教育の推進 ※重点目標						
	道徳教育＝豊かな体験活動を生かし、指導の重点を明確にした道徳教育の充実						
	特別活動＝望ましい集団生活を通し、自主的・実践的な態度を育む特別活動の充実						
	生徒指導＝生徒指導の機能を生かし、自己指導能力を高める生徒指導の充実						
	健康・安全教育＝生命の尊重を基盤とし、社会に貢献できる健康・安全教育の充実						
	6 時代を見通し、新たな可能性を育む教育の推進						
	7 家庭・地域と連携し、地域と共に生徒を育む教育の推進						
	《 研 究 主 題 》						
	「自律した学びの促進」						
	～目的意識を重視した言語活動を通して主体的に学習する児童・生徒の育成～						
特色ある教育活動	(1) 小中一貫教育（小学校登校、乗り入れ授業、合同集会、小中交流会、部活動体験、合同研修）やコミュニティ・スクールの活用						
	(2) 数学、理科、英語でT T・少人数学習・習熟度別授業を実施						
	(3) 全校的に日常の朝読書・自習、週末課題への取り組み、放課後学習会、補習の実施						
	(4) 総合的な学習の時間では「生き方を求めて」を共通テーマ						
	(5) 体育ではスキー学習、武道等で地域の特性を生かした授業の実施						
	(6) 部活動については体育系6部、文化系2部 町内の各種催事で吹奏楽部が演奏						
	学級編制	令和2年5月1日現在					
		学年	1年	2年	3年	特別支援学級	合計
		学級数	2	2	2	4	10
		男子	26	31	34	4	95
女子		23	39	32	0	94	
合計		49	70	66	4	189	
教職員		令和2年5月1日現在					
		校長 中村 伸次					
		教頭 板谷 文美子					
		教職員数 教諭15名 養護教諭1名 事務職員1名 非常勤講師2名					
	一貫教育推進講師1名 特別支援教育支援員2名						
	事務嘱託員1名 学校管理人1名						



# 西 当 別 小 学 校 (中学校併設型小学校)

校章・所在地



## 【校章の意味】

雪のように清らかに、鏡のように曇りなき心身の発達成長への願いを表す。

〒061-3776

北海道石狩郡当別町太美町 1481 番地

電話：0133-26-2170 FAX：0133-26-2813

校歌

三  
夕雲遠く しずまりて  
阿蘇岩山に あかねさす  
われらはのぞみ もやしあい  
育つよ育つ すこやかに  
西当別の小学校

二  
緑の原を つらぬきて  
石狩川の 水清し  
われらはともに 手を結び  
進むよ進む ひとすじに  
西当別の小学校

一  
青き手稲の かがやけば  
豊かなる野に 風かおる  
われらはあした 集い来て  
学ぶよ学ぶ さわやかに  
西当別の小学校

作詞 坂本 甫 亮  
作曲 津田

沿革の概要

昭和26年	獅子内小学校・太美小学校が合併して 西当別小学校設立 新校舎落成・移転 校章制定	平成16年	ハマナス50本植樹 (朝日新聞社より寄贈)
27年	西当別小学校校歌制定	18年	文部科学省指定の「小中連携事業」 開始(2か年)
32年	校舎増築、屋内体育館完成	19年	国際理解教育開始(ALTとの学習) JICA 研修員学校訪問(アフリカ諸国より)
36年	開校10周年記念式挙行	22年	当別町青少年善行賞受賞 (リングブル・エコキャップ収集) 当別町140年記念パレード見学、 記念式典参加(5年生)
46年	開校20周年記念式挙行	23年	大崎市へ震災復興激励の横断幕の送付
48年	増築校舎完成(理科室・準備室、視聴覚室、 放送室、保健室)	24年	JR 電化祝賀式典参加
50年	北海道小中学校放送教育研究大会開催	26年	西当別地区プレイハウスが西当別 小学校内へ移転
56年	開校30周年記念式・祝賀会	27年	電子黒板・書画カメラ設置
57年	新校舎完成(普通教室4・音楽室・理科室)	28年	一貫教育推進講師配置 (西当別中学校と兼務) JICA 研修員学校訪問(アフリカ諸国より) レクサンド市教育委員会視察団訪問
58年	新体育館落成式・祝賀会	29年	小中一貫教育開始 旧校舎屋根改修工事 西当別コミュニティスクール開始
62年	開校記念日指定・祝賀会	30年	全国いじめ問題子どもサミット参加 授業改善推進チーム活用事業開始 体育館屋根改修工事 当教研学校課題研究発表会開催
平成元年	グラウンド改修工事	令和元年	体育館照明、トイレ、玄関改修工事
3年	高岡小学校本校へ統合		
6年	増築校舎落成式・祝賀会		
7年	プレハブ校舎4教室完成		
8年	増築校舎完成式 (普通教室8・音楽室・図工室) 学校給食開始		
9年	「たんぽぽ学級」設置		
13年	新学校教育目標制定 開校50周年記念式・祝賀会		
14年	視聴覚室改修		
15年	児童図書管理コンピューター化		

教育目標

- ◇ 心ゆさぶる感性 〈心〉 ・ のびのび語り合う子
  - ◇ 学び求める知性 〈学び〉 ・ ぐんぐん学び合う子
  - ◇ 生き方を磨く個性 〈生き方〉 ・ もりもりきたえ合う子
- [平成13年3月改定]



経営の重点	<ul style="list-style-type: none"><li>◆小中一貫教育の推進</li><li>◆確かな学びづくり 基礎・基本的事項の確実な習得とその活用による学力の向上</li><li>◆豊かな心づくり 豊かな人間性と強い精神力の育成</li><li>◆健やかな体づくり 体力の向上と健康安全教育の推進</li><li>◆一人ひとりを大切にしたい特別支援教育の充実</li></ul>																																													
研究主題	<p>《 重 点 指 標 》 「チーム西当小の協働による、主体的に学ぶたくましい児童の育成」</p> <p>《 研 究 主 題 》 「自他を認め、考えを深めることができる子どもの育成【国語科】」</p>																																													
特色ある教育活動	<p>1 基礎・基本を大切に確かな学力を身に付ける学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・全学年の算数と低学年国語でT T指導、3～6年算数で習熟度別少人数指導を実施</li><li>・全校一斉に毎朝「朝読書」「ドリルタイム」に取り組む</li><li>・学生ボランティアSATを活用した授業の実施</li><li>・一貫教育推進講師の活用（算数、理科、英語）</li><li>・授業改善チームの有効な活用</li></ul> <p>2 地域の人材を活用した学習支援活動（ときめきバンク・学校支援地域本部事業ボランティア）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・様々な教科や特別活動、総合学習の時間などに「ときめきバンク」（人材バンク）に登録している人材の活用</li></ul> <p>3 NPOと取り組む環境教育</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・NPOの協力を得て、環境教育に積極的に取り組む（5年「道民の森」での学習など）</li></ul> <p>4 活発に行われる読書活動</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・全校一斉の「朝読書」、11月の読書月間、地域ボランティアによる本の読み聞かせなど、読書活動を通して豊かな心を養い、国語力向上を目指した取り組み</li></ul> <p>5 生き生きと展開する児童会活動</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・思いやりの心を育て、児童相互のふれあいを大切にした「ふれあい集会」</li><li>・リングプル回収運動による福祉施設への車いす寄贈、児童会が主体的に計画運営する「西小タイム」、西当別中と連携した環境活動「クリーン作戦」</li></ul> <p>6 基本的な生活習慣や子どもの生きる力を育てる幼保小中連携事業の充実・発展</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・保育所園児の学校体験会、1年生との交流活動</li><li>・6年生の中学校登校、授業体験</li><li>・小中合同クリーン作戦、芸術鑑賞会、いじめ集会など合同行事の開催</li></ul>																																													
学級編制	<p style="text-align: right;">令和元年5月1日現在</p> <table><tr><td>学年</td><td>1年</td><td>2年</td><td>3年</td><td>4年</td><td>5年</td><td>6年</td><td>特別支援学級</td><td>合計</td></tr><tr><td>学級数</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>11</td></tr><tr><td>男子</td><td>11</td><td>13</td><td>22</td><td>15</td><td>25</td><td>23</td><td>1</td><td>110</td></tr><tr><td>女子</td><td>14</td><td>12</td><td>21</td><td>20</td><td>22</td><td>28</td><td>2</td><td>119</td></tr><tr><td>合計</td><td>25</td><td>25</td><td>33</td><td>35</td><td>47</td><td>51</td><td>3</td><td>229</td></tr></table>	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計	学級数	1	1	2	1	2	2	2	11	男子	11	13	22	15	25	23	1	110	女子	14	12	21	20	22	28	2	119	合計	25	25	33	35	47	51	3	229
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計																																						
学級数	1	1	2	1	2	2	2	11																																						
男子	11	13	22	15	25	23	1	110																																						
女子	14	12	21	20	22	28	2	119																																						
合計	25	25	33	35	47	51	3	229																																						
教職員	<p style="text-align: right;">令和2年5月1日現在</p> <p>校長 伊 東 優 子 教頭 土 岐 景 輔</p> <p>教職員数 教諭14名 養護教諭1名 事務職員1名 一貫教育推進講師1名 特別支援学級介助員1名 特別支援教育支援員2名 事務嘱託員1名 学校管理人1名</p>																																													

# 西 当 別 中 学 校 (小学校併設型中学校)

校章・所在地



## 【校章の意味】

六角形の雪の結晶に、西当の文字を図案化し、中の字の周りに配する。

〒061-3772

北海道石狩郡当別町獅子内 5134 番地 1

電話：0133-26-2252 FAX：0133-26-2412

校歌

作詞・作曲 倉島 繁

一 石狩の 潮騒遠く  
夕映えの 広ごるほとり  
厳かしく 立てる学び舎  
西当別 われらのふるさと

二 緑なす 森の梢に  
先人の 功徳びつ  
集い合う 若人われら  
西当別 われらのふるさと

三 涼風は 垂穂にそよぎ  
行く水は 広野うるほす  
豊けしや みのりの里わ  
西当別 われらのふるさと

四 大いなる 恵の朝  
われら今 光を受けて  
踏み分けん 真の長道  
西当別 われらのふるさと

沿革の概要

昭和 22 年	獅子内小に併置開校 当別町制施行町立に	平成 14 年	全道陸上砲丸投げ 3 位(個人)
23 年	校章制定、独立校舎落成	15 年	全道陸上 110mH 3 位(個人)
25 年	高岡分校設置		全道新体操優勝(個人)
26 年	旧校歌制定		全道水泳 50m 自由形 3 位、100m 自由形 2 位(個人)
31 年	体育館落成		全国新体操準優勝(個人)
32 年	開校 10 周年式典	16 年	全道ソフトボール大会 3 位
38 年	高岡分校独立	17 年	新教育目標設定
42 年	開校 20 周年式典	18 年	全道ソフトボール大会 3 位
43 年	高岡中学校統合		18・19 年度国立教育政策研究所委嘱事業 小中連携教育実践研究指定校
46 年	町プール校地に設置		当別町学校教育研究推進協議会学校研究発表会
49 年	スクールバス運行		道「青少年の主張」大会優秀賞(個人)
51 年	石狩管内教育実践奨励賞受賞	19 年	石狩管内教育実践奨励賞受賞
52 年	開校 30 周年式典	20 年	モンゴル国教育視察団訪問
54 年	体育館落成	21 年	ESD 日米教員交流団来校
56 年	新校舎落成記念式典	22 年	体育館耐震改修工事
57 年	校舎落成記念植樹 グラウンド完成	23 年	当別町学校教育研究推進協議会学校研究発表会
平成 4 年	学校週 5 日制開始	25 年	体育館大規模改修工事
8 年	学校給食完全実施、事務補配置		旧校舎給水管改修工事
9 年	全国スキー大会回転優勝(個人)	26 年	校務用生徒用パソコン更新
11 年	開校 50 周年式典・スウェーデン訪問	27 年	電子黒板・書画カメラ設置
12 年	全道剣道大会 3 位(個人)	29 年	小中一貫教育開始
増築校舎完成			開校 70 周年
町 P 連研究大会(本校 PTA 主管)		30 年	全国いじめ問題子どもサミット参加
13 年	特殊学級設置・10 学級編制		
14 年	全道新体操準優勝(個人)		

教育目標

ここ西当別の大地で、  
◇ 高い知性 〈知〉  
◇ 強い意志 〈徳〉  
◇ 健やかな体 〈体〉  
を求め、自らの進路を切り拓こう

[平成 17 年 2 月制定]

経営の方針と重点	<p>&lt;経営の方針&gt;</p> <p>【令和2年度 重点教育目標】</p> <p>『Take Action ～自ら行動を起こし、自立できる生徒の育成～』</p> <p>&lt;経営の重点&gt;</p> <p>1. 教職員の和と輪、信頼と相互の協働による教育活動</p> <p>2. 教職員の使命感、危機管理意識の向上と共通理解による共通指導</p> <p>3. 生徒の成長を検証する評価と情報発信の充実</p> <p>4. 保護者・地域関係機関との連携を密にした開かれた学校</p> <p>5. 次年度新学習指導要領の完全実施に向けた教育課程の管理</p> <p>6. 小学校との連携によるCSとの関連を持たせた小中一貫教育推進</p> <p>7. 働き方改革アクションプランの取り組み推進</p> <p>8. 共生社会に向けニーズに応じた特別支援教育</p>																														
研究主題	<p>《 研 究 主 題 》</p> <p>自らの考えを表現し、学びあう生徒の育成</p> <p>～ 考え、議論する道德の実践と適切な評価方法の構築 ～</p>																														
特色ある教育活動	<p>①小中一貫教育 学校行事・部活動・児童生徒会の交流事業・小中交流会・新入生説明会 乗り入れ授業・合同研修など</p> <p>②朝読書 全学年年間を通した朝読書の実施</p> <p>②生徒会活動 いじめ撲滅の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ハッピースマイルプロジェクト（支え助け合う仲間づくり）の実践</li><li>・小中合同いじめ撲滅集会・撲滅宣言</li><li>・一貫教育・CS連携事業</li><li>・校区内小中合同クリーン作戦</li><li>・挨拶運動</li></ul>																														
学級編制	<p>令和2年5月1日現在</p> <table><tr><td>学年</td><td>1年</td><td>2年</td><td>3年</td><td>特別支援学級</td><td>合計</td></tr><tr><td>学級数</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>8</td></tr><tr><td>男子</td><td>26</td><td>22</td><td>21</td><td>4</td><td>73</td></tr><tr><td>女子</td><td>16</td><td>20</td><td>22</td><td>0</td><td>58</td></tr><tr><td>合計</td><td>42</td><td>42</td><td>43</td><td>4</td><td>131</td></tr></table>	学年	1年	2年	3年	特別支援学級	合計	学級数	2	2	2	2	8	男子	26	22	21	4	73	女子	16	20	22	0	58	合計	42	42	43	4	131
学年	1年	2年	3年	特別支援学級	合計																										
学級数	2	2	2	2	8																										
男子	26	22	21	4	73																										
女子	16	20	22	0	58																										
合計	42	42	43	4	131																										
教職員	<p>令和2年5月1日現在</p> <p>校長 大 浦 浩</p> <p>教頭 江 連 誠 二</p> <p>教職員数 教諭15名 養護教諭1名 事務職員2名 非常勤講師2名 小中一貫教育推進講師2名 特別支援教育支援員2名 事務嘱託員1名 学校管理人1名</p>																														

### ➤ 3 小中一貫教育

#### 【授業】

重点	取組	教科系統表の活用
主体的・対話的で深い学びの実現	授業改善推進チーム	2名の改善チーム教師が、小学校間を行き来し授業改善に向けての指導助言にあたる。(年間900時間) また小学校の成果を中学校へも波及させる。
	中学校生活の体験	小学生が中学校の日課のもと、授業や部活動、行事に参加し、中学生活への理解と主体性を高める。
	教科担任制試行	乗入れ授業、芸体系授業での実践
	小中一貫教育推進講師の配置	町の非常勤職員である小中一貫教育推進講師4名を小・中学校に派遣。(算数・数学、理科、外国語) 9か年の連続性や系統性を踏まえた授業を共同(T・T)で行う。 また、教材の作成や小中一貫教育通信による情報発信を行う。

#### 【小学校外国語の先進的取組】

重点	取組	取組内容
小学校外国語授業の充実	<b>【1、2年生】</b> 年間10時間 <b>【3、4年生】</b> 年間35時間 <b>【5、6年生】</b> 年間70時間 ※時数確保のため、60分授業を実技系教科で週3回実施。	1 外国語指導助手(外国人講師3名)を全授業に配置(年間973時間) 2 町独自の小中一貫教育推進講師(外国語)を2名配置(各中学校区1名) 3 各中学校区に外国語専科指導加配教員(2名)を配置

#### 【研修】

重点	取組	目的	当別地区	西当別地区
教員の指導力の資質向上	校内研究交流	小中共通した研究主題の設定	[研究内容] 表現力の育成	[研究内容] 学習規律の一貫性
	小中合同教職員交流会	授業力向上のための指導法や小中一貫した生徒指導の在り方の研究協議	開催日未定	
	町教育委員会主催の教職員研修開催	教職員の資質向上と今日的教育課題の解決	[夏季] 7月開催予定 [冬季] 12月開催予定	

#### 【小中合同行事】

重点	取組	取組目的及び内容	
学校間の協働による豊かな心の育成	いじめ撲滅集会の開催	児童会・生徒会が主体となり、地域住民・保護者と共に「いじめ」や「自殺防止」について考える。	7月20日開催予定

	芸術鑑賞	相互交流を通じて豊かな感性、創造力、思考力、コミュニケーション能力等の育成を共に図る。	前期開催予定
	クリーン作戦	小・中学生が協同で地域の環境美化に取り組む。その中で、地域の一員であることをはじめ、地域への関心も高める。	前期開催予定
	スポーツフェスティバル (S・F)	「地域に開かれた教育課程」「主体的・対話的・深い学び」を中心に据え、従来の運動会から新たな行事としてS・Fを開催する。	6月開催予定

### 【学校運営協議会の取組】

1	目的	小中一貫教育のサポート		
2	組織	保護者代表及び地域住民、学校関係者により協議会を形成。	当別地区	西当別地区
			委員 13 名 (年 6 回 実 施予定)	委員 22 名 (年 4 回 実 施予定)
			組織図は 8 ページ	
3	(1) 学校評価	保護者・地域住民の意見・要望を学校運営に反映するため、学校運営の点検、評価、助言と承認を行う。	学校評価の実施	
	(2) 児童生徒の生活習慣改善	児童・生徒のメディアに触れている時間が長い現状を踏まえ、学校運営協議会が主体となって、児童生徒の生活習慣改善に取り組む。	○生活習慣アンケートを実施。 ○リーフレット「子どもたちの健やかな成長を願って」を作成	
	(3) コミュニティ・スクールカレンダーの作成	学校や地域行事への参加を促すため、学校、地域の行事を記載したカレンダーを校区内全世帯に配布する。	3月作成 配布	
	(4) 研修会の開催	今日的課題解決のための研修会を開催する。	11月開催予定	
	(5) 学校との共催行事	地域と学校教育活動双方の活性化に向けた取組を推進するため、双方が連携した行事を開催する。	職業人の話を聞く集会 (年2回実施予定)	地域防災訓練 (10月開催予定)

## ➤ 4 学校給食

### 1 特 色

#### (1) 食育の推進

地場産食料を活用することにより、子供たちが地域を知り、地域の産業について理解を深め、地域に誇りを持てるような「食育」の展開を進めています。現在、地元農家などと契約して、新鮮な野菜や地元加工品を使用することにより、安全・安心な給食を提供しています。

#### (2) 食生活改善協議会の協力による食育授業

食育授業の充実を図るため、平成30年度から小学1年生・令和元年度からは小学校3年生の食生活改善協議会の協力を得て行っています。正しい食習慣を身に付け児童生徒一人一人が「自分の健康を考え、食事を選ぶ能力」を身につける大切な学びの場となっています。

### 2 給食費

区分		実施回数 (回)	一食単価 (円)	年額 (円)
小学校	1年	180	249	44,820
	2年	185・187		46,065・46,563
	3年	184・186	255	46,920・47,430
	4年	184・187		46,920・47,685
	5年	182・184	261	47,502・48,024
	6年	183・185		47,763・48,285
中学校	1年	184・185	317	58,328・58,645
	2年	180・182		57,060・57,694
	3年	174・173		55,158・54,841

### 3 学校給食センターの運営

(1) 学校給食センター運営委員会は、教育委員会の諮問機関として10名の委員で構成され、学校給食費会計や給食センターの運営に関わる事項について審議しています。

教職員4名、保護者3名、学識経験者3名 委員任期2年

(2) 調理・配送・配膳業務を北日本フードサービス(株)へ委託 (業務従事者27名)

### 4 施設概要

区 分	概 要
名 称	当別町学校給食センター
所 在 地	石狩郡当別町若葉2224番地
建 設 年 度	平成7年5月着工
開 設	平成8年1月(平成7年度3学期)
敷 地 面 積	3,625.00㎡(1,096.56坪)
建 物 面 積	1,098.12㎡(332.18坪)
構 造	鉄筋・鉄骨コンクリート造 一部2階建
調理場区分	共同調理場
厨 房 方 式	ドライシステム
調 理 能 力	最大3,000食/日
廃 水 処 理	回転円板方式
厨 芥 処 理	有機廃棄物処理方式
建設事業費	830,386千円
実 施 状 況	953食/日(令和2年4月現在)

## ➤ 5 保護者支援制度（学校教育）

### 1 就学援助

経済的理由によって、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、その就学に必要な援助を行う。

内訳（令和2年度支給額）

（単位：円）

支給費目		小学校	中学校	内 容
新入学児童生徒 入学準備金	入学前	51,060	60,000	入学予定者が入学に必要な通常必要とする学用品及び通学用品（H29～）
新入学児童生徒 学用品費等	1 年	51,060	60,000	小学校又は中学校に入学する者が通常必要とする学用品及び通学用品 ※ 入学前に入学準備金を受けた場合は対象外
学用品費 (学) 通学用品費 (通) 校外活動費 (校)	1 年	(学) 11,630	(学) 22,730	各教科及び特別活動の学習に必要とされる学用品（実験、実習教材費を含む）、通学用靴、雨傘等の通学用品に係わる経費及び校外活動に参加するために必要な交通費及び見学科
	2 年	(学) 11,630 (通) 2,270 (校) 実費	(学) 22,730 (通) 2,270 (校) 実費	
	3 年			
	4 年			
	5 年			
	6 年			
体育実技用具費 小1・4年、中1年のみ	スキー	26,500	38,030	体育授業の参加に必要な体育実技用具（スキー、柔道）
	武道用具		7,650	
修学旅行費		実費	実費	小学校及び中学校で、それぞれ1回参加する修学旅行に直接必要な交通費、宿泊費、見学科などの経費
生徒会費			実費	生徒会費として負担すべき経費（H29～）
P T A会費		実費	実費	P T A活動に要する費用として負担すべき経費（H29～）
学校給食費		現物支給	現物支給	学校給食に要する食費の全額
医療費		実費	実費	感染症又は学校病にかかり、学校から治療の指示を受けたとき、その疾病のための医療に要する費用 学校病とは、トラコーマ及び結膜炎、白せん、疥せん及び膿疱疹、中耳炎、慢性鼻腔炎及びアデノイド、う歯、寄生虫（虫卵保有を含む）をいう。

## 2 特別支援教育就学奨励費

小学校及び中学校の特別支援学級に在籍し、就学援助の対象とならない児童生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、就学奨励費を支給する。

内訳（令和２年度上限額）

（単位：円）

支給費目		小学校	中学校
新入学児童生徒 学用品・通学用品購入費	1年	25,555	28,990
学用品・通学用品購入費		5,820	11,370
体育実技用具費 小1～3年、4～6年、中1～3年の 各期間に1回	スキー	13,255	19,015
	柔道		3,825
	剣道		26,455
校外活動等参加費（宿泊を伴う）		1,845	3,105
校外活動等参加費（宿泊を伴わない）		800	1,155
通学費		実費又は実費の1/2	実費又は実費の1/2
修学旅行費		10,790	28,860
学校給食費		実費の1/2	実費の1/2

## 3 特別支援学級等通学援助費

小学校及び中学校の特別支援学級・通級指導教室に通学する児童生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、通学費の一部を支給する。



---

# 社 会 教 育

---

1	重点目標	P27
2	社会教育関係事業	
(1)	学校教育との連携事業	P27
(2)	生涯学習推進事業	P29
(3)	読書活動推進事業	P30
(4)	生涯スポーツ推進事業	P31
3	社会教育施設	
(1)	コミュニティーセンター・文化施設等	P32
(2)	体育施設	P33

---

## ➤ 1 重点目標

- 1 多彩な生涯学習プログラムの展開
- 2 三課横断「児童生徒、学校及び家庭支援」
- 3 読書活動の推進

※詳細は、P5「当別町教育推進計画」参照

## ➤ 2 社会教育関係事業

### 1 学校教育との連携事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
わくわくキッズ	5月～12月 (月1回 土曜日)	当別小学校 体育館等	小学生	様々な体験活動や郷土学習、異年齢交流を通して学習する楽しさを伝える。
土曜教室	5月～3月 (年10回)	当別子ども プレイハウス 西当別子ども プレイハウス等	小学生	
土曜学習会	8月～2月 (年6回)	白樺コミセン 西当別コミセン	中学生	基礎学力の向上と学習習慣の定着を図る。
放課後学習会	4月～3月 小学生：年70回 中学生：年59回	各小・中学校	小学生 中学生	学習のサポートを行い、基礎学力や学習習慣の定着を図る。
イングリッシュ・プロジェクト	5月～12月 (年9回)	白樺コミセン 西当別コミセン等	小学生	様々な国の人と一緒に、楽しくゲーム・ダンス・歌・おしゃべり等を行うことで、異文化の理解を図る。

こころのふれあい 通学合宿	6月21日 ～6月26日	西当別コミセン	小学 5・6年生	5泊6日の集団生活を通し規則正しい生活習慣と自ら考え行動できる力を育む。
当別町小中高大生 TOWN ミーティング	5月～11月	白樺コミセン	町内の 小・中・高校生 北海道医療 大学生	町の課題に向き合うことにより社会の一員としての資質と自覚を高める。
少年の意見発表会	2月6日	ゆとろ	町内の 小・中・高校生	日常生活での体験や考えを自己の言葉で表現することにより社会参加意識の形成を図る。また、大人に対し少年への理解を深めてもらう機会とする。

## 2 生涯学習推進事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
青少年リーダー 養成事業	4月～3月	白樺コミセン等	中学1年 ～ 高校3年	リーダー研修会の参加や地域行事の手伝いを通じ、青少年リーダーを養成する。
ことぶき大学	5月～3月 (全24講座)	白樺コミセン 各見学・体験 ・交流施設等	60歳以上 の町民	体験活動を重視した趣味の講座や、健康や生きがいづくりの講演会、見聞を広める研修視察等を実施する。
北海道医療大学 連携講座	6月～1月 (年6回)	北海道医療大学 キャンパス等	町民	高等教育機関と連携を図り、大学の知的財産を活かした学習機会の提供を進める。
子育てを考える つどい	7月～3月	各小・中学校 地区会館等	P T A等	講演会、懇談会等を開催し、子育てについて考え、効果的に家庭や地域社会の教育力の向上と充実を図る。
当別町人材バンク	要相談	要相談	町民	自らの知識や技能を活かして活動をする人材バンクを活用し、町内活動団体等への紹介やコーディネートを行う。
町民自主企画講座	4月～3月	白樺コミセン等	町民	町民自らが企画する講座の支援を行う。
当別町文化祭	10月31日 ～11月3日	白樺コミセン 総合体育館	町民	多くの町民の自主的・創造的な発表の機会と、文化に親しむ場を創出する。
歴史学習講座	5月～3月 (年11回)	白樺コミセン	町民	当別町の古文書の解読により、当別町開拓の歴史を学ぶ。

### 3 読書活動推進事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
ブックスタート	10 ヶ月児 健診時	ゆとろ	10 ヶ月児 健診を 受診する 親子	乳幼児期からの絵本の読み聞かせの大切さや方法の理解を深めるため、「ブックスタートパック」を配付する。
ブックセカンド	6 月	各小学校	小学1年生	乳幼児期に育まれた読書への興味・関心を引き継ぎ、読書習慣を育て、さらに家族ぐるみで高めていくことを目的とし、新1年生の入学のお祝いとして自分の選んだ本を1冊プレゼントする。
巡回図書	5 月～3 月 幼保 子育て支援センター 小中学校 プレイハウス	幼稚園 保育所 ゆとろ 各小・中学校 プレイハウス	幼児 小学生 中学生	子どもの読書活動を充実させるため、町図書館の新規購入図書を幼稚園、保育所、ゆとろ、各小中学校、プレイハウスへ巡回し貸し出しを行う。
図書修繕	4 月～3 月 毎月第3金 曜日	図書館	町民	ボランティアの協力により、破損した図書の修繕を行う。
学校図書館支援活動	毎週指定 曜日・時間	各小・中学校	小学生 中学生	町図書館の司書が学校を訪問し、読書環境の整備及び選書のアドバイス等を行う。
読書週間	(春) 4 月 23 日～5 月 12 日  (秋) 10 月 27 日～11 月 8 日	図書館	町民	おすすめ本の展示会、古本市等を実施し、読書の楽しさと大切さを感じ、読書活動の推進を図る。
図書館まつり	(春) 5 月 30 日  (夏) 7 月 18 日	図書館 (西)  図書館 (本館)	町民	様々な催しを通じて、多くの町民が図書館に集う機会を設け、本の楽しさや魅力に触れるきっかけを作り、読書活動の推進を図る。

#### 4 生涯スポーツ推進事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
学校開放事業	4月1日 ～3月31日	各小・中学校 体育館 グラウンド	町民	定期的なスポーツ及びレクリエーション活動の場として、各小・中学校の体育館・グラウンドを開放する。
ニュースポーツ チャレンジ	4月～3月	要相談	町民	申し込み団体に講師を派遣し、ニュースポーツの体験、啓発に向けた出前教室を実施する。
小中学生のスポーツ 大会参加事業助成	4月～3月		小学生 中学生	町内の児童生徒が全道・全国スポーツ大会等に参加する場合、その交通費の助成を行う。
町民スポーツの日	4月～3月 毎月いずれか の日曜日	総合体育館 西当別コミセン	町民	町民の体力向上及び健康増進を目的に、総合体育館及び西当別コミュニティーセンターアリーナの無料開放を行う。
青少年 スポーツの時間	不定期 土曜日 9時～12時	総合体育館 西当別コミセン	町内の 小・中・高 校生と その保護者	青少年の体力向上を図ることを目的に、体育館アリーナの無料開放を行う。

### ➤ 3 社会教育施設

#### 1 コミュニティーセンター・文化施設等

##### 白樺コミュニティセンター

※ふれスポ with AMB による指定管理[平成 28 年 4 月 1 日開始]

所在地 石狩郡当別町白樺町 2792 番地 1 電話 0133-23-2511 FAX 0133-23-2516  
開館時間 午前 9 時～午後 10 時  
休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）  
施設概要 多目的ホール、大研修室、小研修室、調理実習室、和室（3 室）、談話室

##### 西当別コミュニティセンター

所在地 石狩郡当別町太美町 22 番地 7 電話 0133-26-3300 FAX 0133-26-3600  
開館時間 午前 9 時～午後 10 時  
休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）  
施設概要 アリーナ、図書館分館、大会議室、和室、研修室、会議室、調理室、更衣室、シャワー室

##### 当別町学習交流センター

所在地 石狩郡当別町錦町 1248 番地 7 電話・FAX 0133-23-0573  
開館時間 午前 10 時～午後 5 時  
休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）  
施設概要 図書館、歴史資料室

##### 当別町図書館“ふくろう図書館”

所在地 当別町学習交流センター内 電話・FAX 0133-23-0573  
開館時間 午前 10 時～午後 5 時  
休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）  
貸出期間 2 週間以内（1 人 10 冊まで）

##### 当別町図書館西当別分館

所在地 西当別コミュニティセンター内 電話 0133-26-3300 FAX 0133-26-3600  
開館時間 午前 10 時～午後 5 時（火～土は午後 9 時まで）  
休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）  
貸出期間 2 週間以内（1 人 10 冊まで）

##### 世紀会館

所在地 石狩郡当別町園生 57 番地 8 電話 0133-23-2896  
開館時間 午前 9 時～午後 10 時  
休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）  
施設概要 洋室、集会室、和室

##### 当別伊達記念館・伊達邸別館

明治 4 年、仙台藩一門・岩出山の伊達邦直主従によって開拓の鋤が入れられた当別町は、今もその歴史を大切に伝えている。伊達邸別館は明治 13 年、名士来村の際の宿泊や諸会議のための建物。隣接する伊達記念館には、開拓の労苦に感謝し、伊達家主従ゆかりの品々が展示されている。

所在地 石狩郡当別町元町 105 番地 電話 0133-22-3735  
開館時間 午前 10 時～午後 4 時 30 分  
休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、冬期間（11 月～4 月まで）  
料金 無料

## 2 体育施設

屋内施設名	所在地・概要・問合せ先等
当別町総合体育館  ※ふれスポ with AMB による指定管理 [平成28年4月1日開始]	石狩郡当別町白樺町 2792 番地 アリーナ、ランニングコース、トレーニングルーム、弓道場、格技室、更衣室、シャワー室 開館時間：午前9時～午後9時30分 休館日：第1・3月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）、 年末年始（12月29日～1月3日） 問合せ先：0133-22-3833
屋外施設名	所在地・概要・問合せ先等
若葉球場	石狩郡当別町字上当別 2475 番地 6 バックネット、フェンス、スコアボード、ダッグアウト、土盛スタンド 開設期間：5月～10月 問合せ先：当別町総合体育館
阿蘇公園少年野球場	石狩郡当別町元町 1119 番地 1 バックネット、フェンス、ベンチ 開設期間：5月～10月 問合せ先：当別町総合体育館
相撲場	石狩郡当別町元町 1119 番地 3(阿蘇公園内) 土俵1面（屋根付き）、観覧席 開設期間：5月～10月 問合せ先：当別町総合体育館
栄公園テニスコート	石狩郡当別町栄町 1119 番地 7 全天候型コート2面 開設期間：5月～10月 問合せ先：当別町総合体育館
白樺公園テニスコート	石狩郡当別町白樺町 163 番地 1 クレーコート4面 開設期間：5月～10月 問合せ先：当別町総合体育館
当別小学校水泳プール  ※ふれスポ with AMB による指定管理 [平成28年4月1日開始]	石狩郡当別町元町 102 番地 25m×6 コース、幼児・低学年用プール、シャワー、ロッカー、採暖室 開設期間：6月～9月（月曜日、8/15・16は休館） 利用時間：10時～12時、13時～20時 問合せ先：0133-22-0787 または当別町総合体育館
フラワーパークゴルフ場	石狩郡当別町樺戸町 他（当別川河川緑地） 全18ホール 開設期間：5月～10月（火曜日は整備のため利用不可） 問合せ先：当別町総合体育館
あいあい公園少年野球場	石狩郡当別町太美町 1457 番地 1 バックネット、フェンス、ベンチ 開設期間：5月～10月 問合せ先：西当別コミュニティーセンター
あいあい公園パークゴルフ場	石狩郡当別町太美町 1457 番地 1 全18ホール 開設期間：5月～10月（月曜日は整備のため利用不可） 問合せ先：西当別コミュニティーセンター
遊遊公園テニスコート	石狩郡当別町当別太 2095 番地 1 他 オムニコート2面 開設期間：5月～10月 問合せ先：西当別コミュニティーセンター



---

# 子育て・幼児教育

---

1	重点目標	P34
2	子育て・幼児教育関係事業	P34
3	子育て・幼児教育施設	P37
4	保護者支援制度	P37

---

## ➤ 1 重点目標

- 1 子育て支援の充実と幼児教育・保育の充実
- 2 社会全体で子どもを守る体制の構築

※詳細は、P5「当別町教育推進計画」参照

## ➤ 2 子育て・幼児教育関係事業

### 1 特別保育事業

事業	実施場所及び日時	利用料等	対象	目的と事業概要
延長保育事業	認定こども園 おとぎのくに 当別夢の国幼稚園  18時30分～19時30分	課税世帯 1日300円 (月額上限)2,500円 非課税世帯 1日60円 (月額上限)600円	各施設 利用児童	保護者の就労形態の多様化等により、通常の保育時間を超えて保育の実施が必要な場合に延長保育を行う。
障がい児保育事業	認定こども園 おとぎのくに 当別夢の国幼稚園  4月～3月	無料	各施設 利用児童 (3歳児以上)	心身に障がいや発達に遅れを有する児童に対し、保育士を加配し適切な支援を行うことで、当該児童の心身の健全な発達及び育成を促進する。

事業名	実施場所及び日時	利用料等	対象	概要
一時預かり事業	〈一般型〉 認定こども園 おとぎのくに 7時30分～18時30分	3歳児未満 1日2,000円 3歳児以上 1日1,500円 非課税世帯無料	1歳6ヵ月～ 就学前	保護者が一時的に家庭での保育が困難な場合等、育児負担の軽減を図るため、児童に対し保育を行う。
	〈幼稚園型〉 認定こども園 おとぎのくに 当別夢の国幼稚園 ①7時30分～8時30分 ②14時45分～18時30分 ③土曜・長期休み	①1日200円 (月上限2,000円) ②1日800円 (月上限10,000円) ③1日1,000円	幼稚園児 及び2歳児	保護者の私用や仕事など希望により、教育時間前後に預かり保育を行う。

## 2 子ども発達支援センター事業

事業名	実施場所及び日時	利用料等	対象	概要
児童発達支援事業	子ども発達支援センター 4月～3月	1回1,057円	未就学児	日常生活における基本的動作や知識技能を習得し、集団生活に適用することができるよう、適切かつ効果的な指導・訓練を行う。
放課後等 デイサービス 事業	子ども発達支援センター 4月～3月	放課後 1回836円 学校休業日 1回957円	就学児	生活能力の向上のために必要な訓練を行う等、社会との交流を図ることができるよう、適切かつ効果的な指導・訓練を行う。
保育所等 訪問支援 事業	保育所等所属施設 4月～3月	単独支援 1回1,140円 複数支援 1回1,060円	子ども発達 支援センター 利用者	保育所等における集団生活に適應することができるよう、当該保育所等において適切かつ効果的な支援を行う。
障害児相談 支援事業	子ども発達支援センター 4月～3月	無料	18歳以下	児童福祉法に基づく障害児通所支援等の利用に必要な障害児支援利用計画等を作成し、サービス担当者会議を開催する。
特定相談 支援事業	子ども発達支援センター 4月～3月	無料	一般	障害者総合支援法及び介護保険法に基づく居宅サービス等の利用に必要なサービス利用計画等を作成し、サービス担当者会議を開催する。

### 3 学童保育事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
放課後児童健全育成事業 (当別町子どもプレイハウス)	4月～3月 (月～土)  【平日】 下校時～19時  【土・長期休業日】 8時～19時 ※18時～19時は延長保育実施(利用料別途必要)	当別子どもプレイハウス (当別小学校内)  西当別子どもプレイハウス (西当別小学校内)	小学生	仕事等の理由により、放課後等に保護者がいない家庭の児童の保育を行い、安全な環境で集団活動を行う。  【事業内容】 ・学習指導 ・スポーツ指導 ・合同遠足 ・映画鑑賞 ・調理体験 ・ハンドクラフト ・お楽しみ会 ・放課後学習会 等

### 4 子育て支援事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
子育て支援拠点事業 (当別町子育て支援センター事業)	4月～3月 (月～金)	当別町総合保健福祉センター (機能訓練室等)  認定こども園 おとぎのくに内 (すみれルーム)	乳幼児とその保護者	町内の子育て中の親子の交流促進や育児相談、情報提供等きめ細かな子育て支援活動を実施するため、町内2か所に子育て支援センターを設置し、育児者の子育てに対する不安感、孤立感、負担感の解消を目指す。  【事業内容】 ・設定保育事業 あそびのひろば(0歳～6歳までの就学前の子どもと保護者) ・子育て講座 ・育児者リフレッシュ講座 ・多世代交流事業 ・子育て支援情報提供 ・子育て相談 等
子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業)	4月～3月		小学生以下の子どもがいる家庭	ファミリー・サポート・センター(地域において子どもの預かり等の援助を行いたい者と援助を受けたい者からなる会員組織)を設立し、地域の子育ては地域の力で支援する相互協力体制構築により、地域全体で子どもを育てる機運を高め、子育てしやすい環境を整備する。
児童虐待防止事業	4月～3月	保育所・幼稚園 各小・中学校	18歳未満の子ども	児童虐待に対する適切な対応、防止、予防及び早期発見その他の児童虐待防止に関する啓発を行う。

### ➤ 3 子育て・幼児教育施設

---

子ども発達支援センター
-------------

所在地	石狩郡当別町西町 32 番地 1 障害児通所支援事業所 電話・FAX 0133-23-3009 障害児相談支援・特定相談支援事業所 電話 0133-23-2788
開設時間	午前 8 時 45 分 ～ 午後 5 時 15 分
休所日	土・日曜日、祝日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）
施設概要	個別指導室、集団指導室、相談室、検査室、事務室

### ➤ 4 保護者支援制度（子育て・幼児教育）

---

#### 1 就園援助事業助成費

幼児教育・保育の無償化制度により、認定こども園で無償となっている保育料以外で利用者が負担している「給食費（主食費）」（生保の副食費は法により免除）と「教材費」について、生活保護世帯を対象に補助金を交付する。

#### 2 教育・保育施設等助成費

【 対象施設：子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園・保育園・認定こども園 】

##### （ア）施設型給付費

保護者の経済的負担を軽減するため、児童 1 人の教育・保育にかかる費用の額と当該児童に係る利用者負担額の差分を教育・保育施設に対し、施設型給付費を支給する。

また、利用者負担額は、町民税所得割額に応じ、保育所については既存の保育料と比較し、幼稚園については就園奨励費を考慮し、増額とならないよう設定している。

##### （イ）特別保育事業補助金等

多様な教育・保育ニーズへの対応を図るため、延長保育事業、障がい児保育事業、一時預かり事業を実施している保育所等に対し、補助金等を交付する。

##### （ウ）多子世帯の保育料軽減支援事業

保育認定を受けた 3 才未満児の第 2 子に係る保育料無償化事業を継続し、更に第 1 子カウントの年齢制限を拡充（所得制限有）して、子育て世帯の経済的負担の軽減及び子どもを産み育てやすい環境の充実に図る。

---

# 資 料

---

1	教育委員	P38
2	組織図・分掌事務	P40
3	関係各種委員	P41
4	関係各種団体	P47
5	指定文化財一覧	P49
6	教育の沿革	P50
7	統計データ	P55

---

## ➤ 1 教育委員

### 【 教育委員 】

令和2年6月1日現在

職 名	氏 名	就 任 年 月 日
委 員 (教育長職務代理者)	武 岡 和 廣	平成22年10月 1日就任 [3期]
委 員	寺 田 郷 子	平成23年12月15日就任 [3期]
委 員	小 林 泰 雄	平成24年10月 1日就任 [2期]
委 員	佐々木 成 尉	平成29年11月 1日就任 [1期]

### 【 教育長 】

令和2年6月1日現在

職 名	氏 名	就 任 年 月 日
教 育 長	本 庄 幸 賢	平成25年10月 1日就任 [3期]

### 【 歴代 教育長 】

歴 代	氏 名	就 任 期 間
初代	山 田 勇	昭和27年11月 1日 ~ 昭和28年 1月 7日
2代	高 橋 鋼三郎	昭和28年 1月 8日 ~ 昭和32年 2月14日
3代	久 永 善 治	昭和32年 2月17日 ~ 昭和38年 3月31日
4代	高 砂 正 清	昭和38年 4月 1日 ~ 昭和51年 6月10日
5代	佐 藤 晴 之	昭和51年 6月21日 ~ 昭和61年 8月 5日
6代	有 澤 楨 雄	昭和61年 8月13日 ~ 平成 9年 8月22日
7代	藤 中 彰 二	平成 9年 8月25日 ~ 平成13年 9月30日
8代	高 橋 義	平成13年10月 1日 ~ 平成21年 9月30日
9代	山 内 秀 治	平成21年10月 1日 ~ 平成25年 9月30日
10代	本 庄 幸 賢	平成25年10月 1日 ~ 平成28年 9月30日
		平成28年10月 1日 ~ 現在 [新教育長]

※平成28年10月1日より新教育委員会制度に移行。

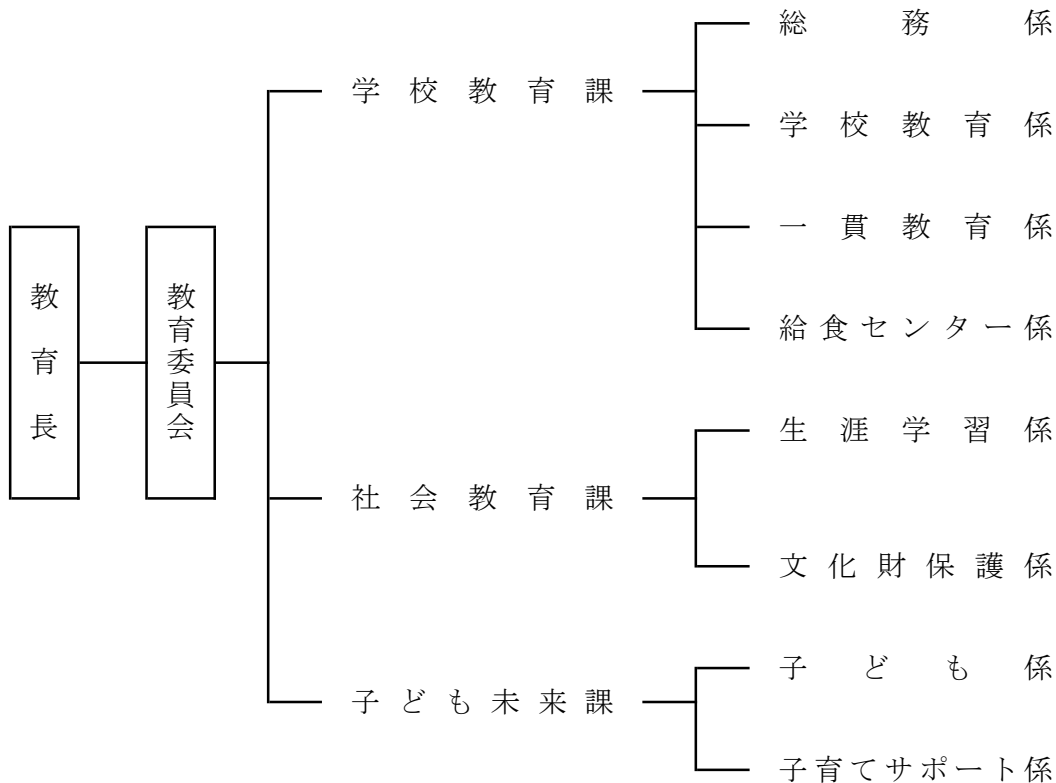
【 教育委員活動状況 】

活 動 名	活 動 日	場 所	備 考
北海道町村教育委員会連合会 平成31年度第1回役員会	平成31年 4月18日	札幌市	北海道町村教育委員会 連合会主催
管内教育委員会協議会総会	平成31年 4月23日	札幌市	石狩管内教育委員会 協議会主催
平成31年第5回定例会	平成31年 4月24日	役場第二庁舎	
北海道公立文教施設整備期成 会第1回役員会	令和 元年 5月13日	札幌市	
北海道町村教育委員会連合会 令和元年度総会	令和 元年 5月14日	札幌市	北海道町村教育委員会 連合会主催
令和元年第1回定例会	令和 元年 5月22日	役場会議室	
石狩管内教育行政懇談会	令和 元年 5月29日	札幌市	
第67回北海道公立文教施設 整備期成会定期総会	令和 元年 6月 7日	札幌市	
第2回定例会	令和 元年 6月26日	役場会議室	
第56回北海道市町村教育委員 研修会	令和 元年 7月11日	札幌市教育 文化会館	北海道町村教育委員会 連合会主催
第3回定例会	令和 元年 7月17日	役場会議室	
管内公立高等学校配置計画地 域別検討協議会	令和 元年 7月30日	札幌市	
第4回定例会	令和 元年 8月29日	役場会議室	
第5回定例会	令和 元年 9月30日	役場会議室	
令和元年度市町村教育委員会 研究協議会	令和 元年10月 6日	富山県富山 市	文部科学省主催
第6回定例会	令和 元年10月16日	役場会議室	
教育委員視察研修	令和 元年11月 7日	三笠市	
第7回定例会	令和 元年11月27日	役場会議室	
第8回定例会	令和 元年12月18日	役場会議室	
当別町成人式	令和 2年 1月12日	総合体育館	
令和2年第1回定例会	令和 2年 1月15日	役場第二庁舎	
当別町少年の意見発表会	令和 2年 2月 1日	ゆとろ	
北海道町村教育委員会連合会 第2回役員会	令和 2年 2月 6日	札幌市	北海道町村教育委員 会連合会主催
第2回定例会	令和 2年 2月19日	役場会議室	
当別町教育委員会表彰式	令和 2年 2月22日	ゆとろ	
第4回臨時会	令和 2年 3月 5日	役場会議室	
第5回定例会	令和 2年 3月25日	役場会議室	



## ➤ 2 教育委員会組織図及び各課の分掌事務

---



### 【学校教育課】

- ・ 教育委員会に関すること
- ・ 事務局及び教育機関並びに附属機関の職員の人事に関すること
- ・ 学校教育の推進に関すること
- ・ 学校教育財産の管理に関すること
- ・ その他教育委員会の権限に属する事務で他課に属さない事務に関すること

### 【社会教育課】

- ・ 社会教育の計画及び推進に関すること
- ・ 社会教育施設に関すること
- ・ 文化財の保護に関すること
- ・ 社会教育に関する調査、研究及び資料の整備に関すること
- ・ 社会教育関係団体及び指導者の育成に関すること
- ・ 青少年健全育成及び対策に関すること
- ・ スポーツの振興に関すること
- ・ その他社会教育の指導及び事務に関すること

### 【子ども未来課】

- ・ 子育て支援施策の計画及び推進に関すること
- ・ 幼児教育及び保育に関すること
- ・ 子ども発達支援センターに関すること
- ・ ファミリーサポートセンターに関すること
- ・ 子どもプレイハウスに関すること
- ・ その他子育て支援に関すること

### ➤ 3 教育関係各種委員

#### (1) 当別町教育支援委員会

各委員：令和2年6月1日現在

教育支援委員会委員				
氏 名		選任区分		所 属
前 田 史 郎	第1号委員	医師		とうべつ内科クリニック
中 村 伸 次	第2号委員	学識経験者		当別町立当別中学校
伊 東 優 子	第3号委員	特別支援学級設置校校長		当別町立西当別小学校
大久保 由希恵	第4号委員	特別支援教育担当教諭		当別町立当別小学校
長 田 真 美	第4号委員	特別支援教育担当教諭		当別町立当別小学校
三 浦 ゆかり	第4号委員	特別支援教育担当教諭		当別町立西当別小学校
嶋 田 賢 人	第4号委員	特別支援教育担当教諭		当別町立当別中学校
石 田 敬 司	第4号委員	特別支援教育担当教諭		当別町立西当別中学校
川 崎 弘 子	第4号委員	特別支援教育担当教諭		北海道拓北養護学校
長谷川 恵 子	第5号委員	児童福祉関係職員		当別町福祉部保健福祉課
五十嵐 京 湖	第5号委員	児童福祉関係職員		認定こども園おとぎのくに
砂 田 敦 子	第5号委員	児童福祉関係職員		認定こども園当別夢の国幼稚園
門 脇 一 恵	第5号委員	児童福祉関係職員		当別町子ども発達支援センター
教育支援委員会専門委員				
大久保 由希恵		特別支援教育担当教諭		当別町立当別小学校
長 田 真 美		特別支援教育担当教諭		当別町立当別小学校
三 浦 ゆかり		特別支援教育担当教諭		当別町立西当別小学校
嶋 田 賢 人		特別支援教育担当教諭		当別町立当別中学校
石 田 敬 司		特別支援教育担当教諭		当別町立西当別中学校

[任期] 令和元年5月1日～令和3年4月30日

#### (2) 当別町特別支援教育推進サポート組織

特別支援教育巡回相談チーム委員				
氏 名		選任区分		所 属
永 井 康 義		特別支援学校教職員		北海道拓北養護学校
大久保 由希恵		特別支援学級設置校教職員		当別町立当別小学校
三 浦 ゆかり		特別支援学級設置校教職員		当別町立西当別小学校
佐々木 孝 行		特別支援学級設置校教職員		当別町立西当別中学校
特別支援教育専門家委員				
氏 名		選任区分		所 属
西 基	第1号委員	精神科、神経科、小児科等の医師		北海道医療大学
菅 原 博 子	第2号委員	臨床心理士		当別町スクールカウンセラー
青 山 眞 二	第3号委員	有識者及び専門機関の委員		北海道教育大学教育学部札幌校

[任期] 令和元年5月1日～令和3年4月30日

(3) 当別町いじめ問題調査委員会

氏 名	分 野	職能区分	所 属
武 田 亘 明	教 育	生涯学習	札幌市立大学デザイン学部デザイン学科
縄 野 歩	法 律	弁護士	札幌弁護士会
瀧 澤 紫 織	医 療	精神科医	江別すずらん病院
富 家 直 明	心 理	臨床心理士	北海道医療大学 心理科学部臨床心理学科
福 間 麻 紀	福 祉	社会福祉士	北海道医療大学 看護福祉学部臨床福祉学科

[任期] 令和2年5月1日～令和4年4月30日

(4) 当別町立学校医・学校歯科医・学校薬剤師

学校医（内科医・耳鼻科医・眼科医）			
学校名	内 科 医		眼 科 医
当別小学校	1～4年	前 田 史 郎	小 林 和 夫
	5～6年	入字田 能 順	
西当別小学校	1～4年	奥 山 茂 樹	
	5～6年	朴 昶 勲	
当別中学校	全学年	澤 崎 孝 司	
西当別中学校	全学年	朴 昶 勲	

学校歯科医・学校薬剤師		
学校名	歯 科 医	薬 剤 師
当別小学校	1～4年	片 岡 芳 仁
	5年	
	6年	
西当別小学校	1～2年	田 西 洋 三
	3～6年	
当別中学校	全学年	片 岡 芳 仁
西当別中学校	1～2年	田 西 洋 三
	3年	

[任期] 令和2年4月1日～令和3年3月31日

(5) 当別町学校給食センター運営委員会

職 名	氏 名	選任区分
委 員 長	大 浦 浩	教職員
副委員長	若 林 公 一	教職員
委 員	矢 持 晴 江	教職員
監 事	加 藤 正	教職員
監 事	鰐 渕 真太郎	保護者
委 員	中 田 綾 子	保護者
委 員	小 林 彩 華	保護者
委 員	田 西 洋 三	学識経験者
委 員	稲 村 時 子	学識経験者
委 員	見 原 美智子	学識経験者

[任期] 令和元年12月22日～令和3年12月21日

(6) 当別町学校運営協議会

氏 名	区 分	所 属
【 当 別 地 区 】		
野 口 和 之	第 1 号委員	地域住民
山 田 健 太	第 1 号委員	地域住民
小田島 正 高	第 1 号委員	地域住民
難 波 雅 美	第 1 号委員	地域住民
長谷部 直 樹	第 1 号委員	地域住民
加 藤 勇 二	第 1 号委員	地域住民
松 岡 宏 尚	第 1 号委員	地域住民
泉 亨 英 徳	第 1 号委員	地域住民
稲 村 英 樹	第 1 号委員	地域住民
鰐 渕 真太郎	第 2 号委員	保護者
西 村 雅 章	第 2 号委員	保護者
小 松 芳 幸	第 3 号委員	地域学校協働活動推進員
砂 田 敦 子	第 4 号委員	その他必要と認めるもの
【 西 当 別 地 区 】		
石 田 洋 三	第 1 号委員	地域住民
大 坪 圭 子	第 1 号委員	地域住民
山 田 佳 秀	第 1 号委員	地域住民
泉 亨 智 則	第 1 号委員	地域住民
金 子 景次郎	第 1 号委員	地域住民
袴 田 万紀子	第 1 号委員	地域住民
曾 川 昭 治	第 1 号委員	地域住民
佐々木 彦 治	第 1 号委員	地域住民
佐々木 健 児	第 1 号委員	地域住民
上 杉 堯 央	第 1 号委員	地域住民
吉 野 裕 宜	第 1 号委員	地域住民
須 藤 孝 明	第 2 号委員	保護者
小 貫 幸 恵	第 2 号委員	保護者
若 命 泰 寛	第 3 号委員	地域学校協働活動推進員
五十嵐 京 湖	第 4 号委員	その他必要と認めるもの
仲 保 智 宏	第 4 号委員	その他必要と認めるもの
土 岐 景 輔	第 4 号委員	その他必要と認めるもの
江 連 誠 二	第 4 号委員	その他必要と認めるもの
細 貝 弘 則	第 4 号委員	その他必要と認めるもの
大 浦 美保子	第 4 号委員	その他必要と認めるもの
鈴 木 英 和	第 4 号委員	その他必要と認めるもの
池 田 陽 彦	第 4 号委員	その他必要と認めるもの

[任期] 令和 2 年 4 月 2 2 日～令和 4 年 3 月 3 1 日

(7) 当別町文化財調査審議会

職 名	氏 名	選任区分
会 長	鎌 田 望	学識経験者
副会長	梅 枝 正 春	学識経験者
委 員	倉 田 守	学識経験者
委 員	渡 部 泰 夫	学識経験者
委 員	大 口 弘 美	学識経験者

[任期] 令和元年 1 2 月 2 0 日～令和 3 年 1 2 月 1 9 日

(8) 当別町社会教育委員会

職 名	氏 名	選任区分
委員長	浜 上 尚 也	学識経験者
委 員	昇 洋 一	学校教育関係者
委 員	大 浦 浩	学校教育関係者
委 員	近 藤 留 美	社会教育関係者
委 員	曾 川 昭 治	社会教育関係者
委 員	伊 藤 美穂子	社会教育関係者
委 員	後 藤 尚 範	社会教育関係者
委 員	吉 野 裕 宜	家庭教育活動者
委 員	須 藤 孝 明	家庭教育活動者
委 員	川 合 秋 夫	学識経験者

[任期] 平成31年4月24日～令和3年4月23日

(9) 当別町子ども読書活動推進委員会

職 名	氏 名	所 属
委員長	渡 部 泰 夫	学識経験者
副委員長	金 木 雅 美	当別町教育委員会子ども未来課
委 員	吉 田 友 恵	認定こども園おとぎのくに
委 員	文 字 絵里子	認定こども園当別夢の国幼稚園
委 員	長 田 真 美	当別小学校
委 員	弥勒院 瑞 枝	西当別小学校
委 員	小笠原 正 恵	当別中学校
委 員	草 野 奈央子	西当別中学校
委 員	原 晴 子	当小よみきかせ隊

[任期] 平成30年10月1日～令和2年9月30日

(10) 当別町スポーツ推進委員会

職 名	氏 名	分担事項
委員長	野 口 和 之	野球、バスケットボール、ゴルフ、パークゴルフ、スナッグゴルフ
副委員長	浜 上 尚 也	スキー、サイクリング、コーディネーション
委 員	伊 藤 美穂子	水泳、ミニバレー、テニス、水泳指導者、コーディネーション
委 員	石 澤 ひとみ	陸上、ミニバレー、ドッジボール、コーディネーション
委 員	日 光 正 博	スキー、パークゴルフ、バレーボール、コーディネーション
委 員	木 村 純 一	剣道、フライングディスク、
委 員	中 多 美 幸	ミニバレー
委 員	栄 木 龍 也	サッカー、軽スポーツ
委 員	菅 野 敬 正	陸上、トライアスロン
委 員	須 藤 豪	サッカー、コーディネーション
委 員	田 村 直 紀	ミニバレー、バドミントン
委 員	吉 田 新之助	野球
委 員	武 田 雅 子	バドミントン、陸上
委 員	新 井 和 也	フライディングディスク、ボッチャ、スキー
委 員	池 田 友 洋	ボッチャ、フライディングディスク

[任期] 令和2年5月1日～令和4年4月30日

## (11) 当別町少年指導センター

青少年健全育成協議委員	
氏 名	関係機関・団体
冷 川 裕美子	当別町民生児童委員協議会
石 澤 ひとみ	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
鰐 渕 真太郎	当別町PTA連合会
吉 野 裕 宜	当別町子ども会育成連合会

[任期] 令和2年5月26日～令和3年5月25日

少年指導委員	
氏 名	関係機関・団体
【 当 別 地 区 】	
小 林 茂 行	当別小学校
本 間 哲 善	当別中学校
佐 藤 大 樹	当別高等学校
佐 藤 政 彦	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
鰐 渕 亜紀子	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
後 藤 尚 範	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
棒 田 克 幸	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
向 井 久美子	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
石 澤 ひとみ	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
岩 渕 博 之	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
有 澤 一 昌	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
長谷川 廣 美	当別町民生児童委員協議会
並 川 憲 多	当別小学校PTA
寺 島 丈	当別中学校PTA
遊 佐 博 憲	樺戸町青少年育成会
佐 藤 太一郎	春日町青少年育成会
清 水 純 子	緑町青少年育成会
【 太美（西当別）地区 】	
吉 沢 亜 紀	西当別小学校
江 連 誠 二	西当別中学校
山 田 論	当別町民生児童委員協議会
藤 田 力	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
鈴 木 章 造	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
宮 本 勝 則	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
川 嶋 淳	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
有 澤 賢太郎	西当別小学校PTA
上 川 日 遵	西当別中学校PTA
林 剛	太美南町内会
田 岡 幹 雄	太美東町内会育成部
土 岐 亜 美	太美中央町内会育成部

[任期] 令和元年5月26日～令和3年5月25日

## (12) 当別町子ども・子育て会議

氏 名	区 分		所 属
金 澤 潤一郎	第 1 号委員	学識経験	北海道医療大学
伊 東 優 子	第 1 号委員	学識経験	当別町小中学校長会
難 波 雅 美	第 2 号委員	関係団体	当別町民生児童委員協議会
五十嵐 京 湖	第 2 号委員	関係団体	認定こども園おとぎのくに
砂 田 敦 子	第 2 号委員	関係団体	認定こども園当別夢の国幼稚園
伊 藤 堯 紘	第 2 号委員	関係団体	社会福祉法人 ゆうゆう
須 藤 孝 明	第 3 号委員	保護者	当別町 PTA 連合会
瀬 戸 郁 裕	第 3 号委員	保護者	認定こども園当別夢の国幼稚園 PTA
和 島 朋 広	第 3 号委員	保護者	認定こども園おとぎのくに PTA
明 石 実	第 4 号委員	公募	
辻 野 浩	第 4 号委員	公募	
津 崎 弘 樹	第 4 号委員	公募	
松 本 めぐみ	第 4 号委員	公募	

[任期] 令和元年10月1日～令和3年9月30日

## (13) 当別町要保護児童対策地域協議会

氏 名	区 分	所 属
遊 佐 博 憲	行 政	当別町福祉部保健福祉課
辻 野 幸 一	行 政	当別町福祉部介護課
北 村 和 也	行 政	当別町教育委員会学校教育課
石 川 公 隆	行 政	当別町教育委員会社会教育課
二 口 之 則	行 政	北海道中央児童相談所
大 場 千 佳	行 政	北海道石狩振興局保健環境部
昇 洋 一	学 校	当別町小中学校長会
須 藤 孝 明	学 校	当別町 PTA 連合会
五十嵐 京 湖	認定こども園	認定こども園おとぎのくに
砂 田 敦 子	認定こども園	認定こども当別夢の国幼稚園
袴 田 万紀子	民生委員児童委員	当別町民生児童委員協議会
堀 内 教 子	人権擁護委員	当別町人権擁護委員
橋 本 俊 一	人権擁護委員	当別町人権擁護委員
宮 崎 直 高	人権擁護委員	当別町人権擁護委員
夏 井 明	警 察	札幌方面北警察署当別交番
前 田 史 郎	医療機関	江別医師会当別ブロック

[任期] 平成31年4月1日～令和3年3月31日

## ➤ 4 教育関係各種団体

### (1) 当別町文化協会 加盟団体

令和2年6月1日現在

区 分	団 体 名
民謡	當香会
詩吟	日本詩吟学院岳風会 太美道場
琴	大正琴 さくら琴の会
舞踊	西川流舞踊教室 当別鯉延会
	正派菊乃流菊ゆう会
	ひょっとこ踊り 玉福
洋舞	フラメンコ・ミ・アイレ
	子供の為のジャズダンスサークルSKIP
	アロハフラーズ
	花舞
	ハーラウ・フラ・オ・ナーレイヒバ・ポーラニ
音楽	当別町カラオケ連合会
	太美カラオケ愛好会
	東裏カラオケ愛好会
	レディース・ハーモニー
	当別混声合唱団 パストラルクワイヤ
	チェリーベル
	OJB
	プア ピリカ アンド パル
郷土芸能	当別音頭を守る会
	とべのすけすずめ踊り隊
茶華道	当別華道連盟
	当別裏千家茶道同好会
	西当別茶道教室
	いけ花 池坊
書道絵画	彩苑書道会
	太美書道教室
生活文化	当別写真同好会
	スエタ手芸教室
	クレイ.クラフト.フラワー
	アートフラワー長谷川
	和裁サークル
	パッチワークサークル
	あい染サークル遊染
	ぽかゆるたいむ
	太美ヨガサークル
	日本棋院当別支部
	スタジオ・アルメリア
文芸	当別短歌会
合計 39 団体	



## (2) 当別町体育協会 加盟団体

令和2年6月1日現在

協会・連盟名	
陸上競技協会	スキー連盟
軟式野球連盟	サッカー連盟
バレーボール協会	相撲国技会
弓道連盟	ソフトボール協会
卓球協会	テニス協会
バスケットボール協会	バウンドテニス協会
剣道連盟	ミニバレー協会
柔道連盟	パークゴルフ協会
合計 16 団体	

## (3) 当別町子ども会育成連合会 加盟団体

令和2年6月1日現在

地区名
北栄町
アウル
西町
元町
緑町
春日町
栄町
みどり野
太美北
太美東
当別太ビトエ川下
スウェーデンヒルズ
スターライト
白樺町
合計 14 地区

## (4) 当別町女性団体連絡協議会 加盟団体

令和2年6月1日現在

所 属
生活改善実践グループ
当別音頭を守る会
合計 2 団体

## ➤ 5 指定文化財一覧

### 【有形】

令和2年6月1日現在

指 定 番 号	品 名	種 別	指定・登録 年月日	所 在 場 所	摘 要
1	伊達綱宗画筆対 三幅	有形文化財	S 50.7.5	元町 伊達美知子氏 が所有	伊達綱宗(寛永17年1640～正徳 元年没1711年) 66才(宝永2年 1705年)の画いたもので伊達正人 が明治25年(1892年)三位男爵 を賜りし折仙台伊達家本藩より 御肴料1万足1折と共に拝領 いたしたものの。 左…柏雉子 中…太公望 右…芦鴛鴦 【縦 214 c m 横 60.5 c m】
2	打掛(紫色)	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	宝永年間の初め(1704年～1707年) 冷泉中納言為清女伊達家3代 村泰公へ御入嫁の際お持ちした ものの。
3	振袖(赤色)	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	享保年間(1716年～1725年推定) 冷泉家中納言為綱女伊達家4代 村緝公へ御入嫁の際お持ちした ものの。
4	打掛(白色)	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	同 上
5	長はかま 及び着物	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	宝永4年生(1707年)～寛永元 年没(1748年)伊達家5代村緝 公が着用したもの。 (長はかまは近衛家より拝領品)
6	のしめ(室内着) 及び帯	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	文化6年生(1809年)伊達家9 代義監公が着用したもの。
7	陣羽織	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	天保5年生(1834年)～明治24 年没(1891年)伊達家10代邦直 公が着用したもの。
8	火事装束	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	同 上
9	子供用綿入れ (2組)	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	文久2年生(1862年)～伊達家 11代基理公が着用したもの。 (慶応、明治初期1825～1872年)
10	子供用単衣	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	同 上
11	当別開拓の図	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別神社	伊達邦直公一行が当別の開拓を 行っている状況を描いたもの。 (岩出山出身 正蘭氏筆) 【縦 68 c m 横 110.5 c m】
12	伊達邸別館	有形文化財	S 51.11.11	元町	明治13年建築 木造二階建 89.16㎡

### 【無形】

13	当別音頭	無形文化財	H25.3.27	当別音頭を 守る会が所有	当別音頭は、昭和45当別町開基 100年を記念してつくられた踊り で、その歌詞は当別の情景 と輝く未来に向けての希望を 歌っている。
----	------	-------	----------	-----------------	--

## ➤ 6 教育の沿革

年 号	で き ご と
明治 5年	・旧仙台岩出山藩主伊達邦直公が家臣とともに当別の地に移住
6年	・邑則により鮎田如牛が私塾を開設（当別小学校の前身）
12年	・鮎田如牛塾が当別教育所となる（鮎田如牛を教師に任じる）
13年	・下川通に校舎を建築し当別教育所を当別学校と改称（1棟35坪2階建・児童数60名）
19年	・小学校教則改正に伴い当別小学校と改正
24年	・当別小学校が当別簡易小学校に名称変更
25年	・学務委員を1名任命（現在の教育委員に相当）（明治33年には5人制、35年には議会より5人、公民権を持つ者から3人、教員より2人の10人制となる）
26年	・弁華別小学校が後の当別尋常小学校の分教場として創立
29年	・当別簡易小学校を当別尋常小学校と改称、修業年限4年制となる
32年	・太美小学校が当別尋常小学校第三分教場として創立
33年	・当別尋常小学校に修業年限2年の高等科を併置し当別尋常高等小学校とする（明治31年には高等科を3年に、32年には4年に変更）
34年	・金沢小学校が当別尋常高等小学校第三分教場として創立
35年	・中小屋小学校が当別尋常高等小学校第四分教場として創立
37年	・獅子内小学校が当別尋常高等小学校第五分教場として創立
38年	・青山小学校が青山簡易教育所として創立
39年	・青山中央小学校が青山奥簡易教育所として創立
40年	・当別高岡小学校が当別尋常高等小学校第六分教場として創立
41年	・戸長役場制から二級町村制へ移行
42年	・東裏小学校が東裏簡易教育所として創立
43年	・川下小学校が当別尋常高等小学校出張所として創立
44年	・弁華別小学校に農業補習学校（実業補習学校）を併置（14歳以上の実業に従事している青年を対象に開設された後の青年学校、夜間学校）
45年	・当別尋常高等小学校の新校舎が現在の元町102番地に落成、移転
46年	・太美小学校に農業補習学校（実業補習学校）を併置
47年	・二級町村から一級町村へ昇格
48年	・小学校令改正に伴い尋常科は義務制で6年、高等科は2年制となる（明治42年には高等科は3年制に変更）
49年	・青山小学校と青山中央小学校に農業補習学校（実業補習学校）を併置
50年	・二股小学校が二股教育所として創立
51年	・三番川小学校が当別第三尋常小学校（青山中央小学校）三番川特別教授場として創立
52年	・四番川小学校が当別第三尋常小学校（青山中央小学校）四番川特別教授場として創立
53年	・当別小学校が北海道での優良校として表彰を受ける
54年	・蕨岱小学校が当別尋常高等小学校蕨岱特別教授場として創立
55年	・全町の児童数1,920人、教員数45人
大正 4年	・材木沢小学校が当別尋常高等小学校材木沢分校として創立
7年	・当別尋常高等小学校他5校に実業補習学校（農業補習学校）を併設
8年	・実業補習学校（農業補習学校）を3校増設し13校とする
9年	・当別小学校改築工事完成（工事費13万円・建物面積3,762㎡、普通教室24、特別教室6（裁縫作法室、音楽室、理科室、標本器具室など）、暖房はペチカ方式を採用）
14年	・三番川小学校を四番川小学校に併合し一時閉校とする
昭和 9年	・札沼線当別―札幌間開通
10年	・青年学校令が公布され四番川小学校を除く各小学校に併設される（実業補習学校と青年訓練所を統合）
16年	・小学校が国民学校と改められる（1学級あたりの児童数が増え初等科60人以下、高等科50人以下となり、昭和19年にはそれぞれ75人、65人まで認められるようになる）
21年	・社会教育委員として10名が北海道庁長官から委嘱される（昭和24年社会教育法制定により解任、25年より当別町教育委員会から委嘱）
22年	・体育指導委員として7名が北海道庁長官から委嘱される（昭和36年よりスポーツ振興法が施行され当別町教育委員会から委嘱）
23年	・当別村から当別町へ昇格（町制施行）
24年	・学制改革により6・3・3制に移行し国民学校を小学校と改称、青年学校は廃止される
25年	・四番川小学校が全焼、新校舎落成
26年	・当別中学校が当別小学校に併置され創立
27年	・弁華別中学校が弁華別小学校に併置され創立
28年	・青山中央中学校が弁華別中学校青山中央分校として青山中央小学校に併置され創立

年 号	で き ご と
昭和22年	・ 中小屋中学校が当別中学校中小屋分校として中小屋小学校に併置され創立 ・ 西当別中学校が獅子内小学校に併置され創立 ・ 四番川中学校が弁華別中学校四番川仮分校として四番川小学校に併置され創立 ・ 当別町体育連盟が組織される（昭和34年に体育協会に改組）
24年	・ 第1回当別町成人式举行 ・ 当別高校が道立江別高校定時制当別分校として創立
25年	・ 当別高岡中学校が西当別中学校高岡分校として当別高岡小学校に併置され創立
26年	・ 獅子内小学校全焼 ・ 太美小学校と獅子内小学校を統合し西当別小学校を創立 ・ 三番川小学校が四番川小学校分教室として再発足
27年	・ 当別町教育委員会発足（公選により4人、町議会から1人の計5人が任命され、互選により山田茂氏が初代委員長、杉本初雄氏が副委員長に決定）
28年	・ 二股中学校が青山中学校二股分校として二股小学校に併置され創立 ・ 三番川中学校が弁華別中学校四番川分校三番川分室として三番川小学校に併置され創立
31年	・ 法改正により教育委員の公選制を廃止し町理事者推薦制となる ・ 当別町教育目標を設定し公表
38年	・ 当別町公民館が当別町体育館として完成（工事費3,855万円・建物面積1,322㎡・体育室、個別訓練室、柔道室、剣道室）
39年	・ 町立当別高等学校（昭和36年発足・全日制、定時制併置）が道へ移管され道立となる ・ 当別小学校に特殊学級「いなほ学級」を設置（1学級・児童10名・教員2名） ・ 当別町青少年問題協議会発足 ・ 当別町相撲場完成（面積64㎡・屋根付き）
40年	・ 当別町立幼稚園が当別小学校に併置され創立 ・ 材木沢小学校を閉校し当別小学校に統合 ・ 当別町体育総合道場完成（工事費280万円・建物面積201.5㎡・柔道、剣道、重量挙げ、弓道の道場として活用）
41年	・ 当別中学校に特殊学級「ときわ学級」を設置（1学級） ・ 当別町学校水泳プール完成（工事費751万円・規模：児童生徒用25m×15m×1.2m、幼児用10m×10m×0.6m）
42年	・ 四番川中学校を閉校し青山中央中学校に統合 ・ 伴静江奨学金運営委員会発足 ・ 当別町中学校発足20周年記念式典举行
43年	・ 青山小学校が教育大学札幌分校の協力校として委嘱を受ける（47年までの4年間） ・ 当別高岡中学校を閉校し西当別中学校に統合
44年	・ 当別中学校を現在の下川町125番地に移築（工事費20,500万円・建物面積5116.61㎡） ・ 当別小学校屋内体育館改築（工事費2,293万円・建物面積912㎡）
45年	・ 開基100年記念祝典及び記念諸行事開催 ・ 当別町開拓郷土館完成（工事費1,417万円・建物面積337.48㎡） ・ 当別町公民館世紀分館完成（工事費410万円・建物面積165㎡・会議室、和室3室） ・ 当別町青少年会館完成（工事費1,474万円・建物面積448㎡・体育室、集会室、和室、厨房兼実習室等） ・ 当別町栄公園テニスコート完成（2面・面積1,330㎡）
46年	・ 三番川小中学校を閉校し青山中央小中学校に統合 ・ 当別町弓道場完成（面積224㎡・射的場） ・ 当別町西当別プール完成（工事費1,537万円・規模：競泳25m×10m×1.2m、低学年用10m×5m×0.7m、児童用5m×5m×0.4m） ・ 当別小学校校舎改築（46年1期工事、47年2期工事・総工事費26,000万円・建物面積4,857㎡）
47年	・ 当別幼稚園園舎新築（工事費2,385万円・建物面積580㎡） ・ 当別町中小屋スキー場完成（工事費434万円・総面積11,719㎡）
48年	・ 四番川小学校を閉校し青山中央小学校に統合
49年	・ 中小屋スキー場にジャンプ台設置（工事費140万円・総面積2,400㎡・25m級ジャンプ台） ・ 当別町青山中央プール完成（工事費1,855万円・規模：25m×10m・上屋付）
50年	・ 青山小学校を閉校し弁華別小学校に統合 ・ 二股小中学校を廃止し青山中央小中学校に統合 ・ 当別町立幼稚園を「当別幼稚園」と「鉄北幼稚園」に分離新設（工事費5,325万円・建物面積612㎡・4月から完成までの間は旧青山小学校校舎を利用） ・ 東日本学園大学が当別町金沢に薬学部を開設（53年歯学部及び附属病院開設、59年歯科衛生士専門学校開設、60年教養部を音別町から移転、平成5年看護福祉学部開設、6年 校名を北海道医療大学に変更）
51年	・ 当別町社会教育指導員設置

年 号	で き ご と
52年 昭和52年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別町中学校発足30周年記念式典挙行</li> <li>・当別町第2プール完成（工事費2,600万円・規模：25m×10m・上屋付）</li> <li>・当別町若葉球場完成（工事費6,300万円・総面積12,133㎡）</li> <li>・当別町青少年センター完成（工事費4,434万円・建物面積351㎡・集会室、図書室兼視聴覚室、娯楽室兼遊戯室、和室、厨房兼実習室）</li> <li>・青山中央小中学校新校舎完成</li> </ul>
53年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別町南部地域会館完成（建物面積227㎡・研修室、会議室、和室、厨房室）</li> <li>・中小屋中学校新校舎完成</li> </ul>
54年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別町体育協会創立20周年記念式典挙行</li> <li>・当別町東裏プール完成（工事費1,955万円・規模：20m×10m）</li> <li>・当別町若葉サッカー場完成（1面・面積7,000㎡）</li> <li>・当別町若葉テニスコート完成（2面・面積1,368㎡）</li> </ul>
56年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別町弁華別プール完成（工事費3,090万円・規模：25m×10m）</li> <li>・当別町阿蘇公園少年野球場完成（工事費1,350万円・面積6,590㎡）</li> </ul>
57年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別ロータリークラブ奨学金制度発足</li> <li>・当別町中小屋プール完成（工事費2,982万円・規模：25m×10m）</li> <li>・当別町しらかばテニスコート完成（工事費2,297万円・4面・面積5,100㎡）</li> <li>・当別伊達記念館完成（工事費3,654万円・建物面積161.59㎡・開拓資料展示）</li> <li>・伊達邸別館完成（移転工事費515万円・建物面積92.53㎡・復元資料展示・明治13年建築）</li> </ul>
59年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別町教育奨励賞制定</li> <li>・当別町栄公園テニスコート（全天候型）完成（工事費2,270万円・全天候型2面・面積1,330</li> </ul>
60年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別川河川公園ゲートボール場完成（4面）</li> </ul>
62年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別町スポーツ賞制定</li> </ul>
63年 平成元年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別小学校に「ことばの教室」開級（1学級認可）</li> <li>・金沢小学校を閉校し当別小学校に統合</li> <li>・当別町総合体育館完成（総工事費12億9,000万円・敷地面積10,802㎡・建物面積4,287.94㎡・アリーナ、弓道場、格技場、ランニングコース、トレーニングルーム）</li> <li>・当別町体育協会創立30周年記念式典挙行</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別町きららパークゴルフ場完成（8ホール、平成3年4ホール増設）</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別高岡小学校を閉校し西当別小学校に統合</li> <li>・当別町少年指導センターを当別町公民館内に設置（専任指導員2名配置）</li> <li>・当別町母子通園センター「ゆりのこ」開園</li> </ul>
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別町屋内ゲートボール場完成（建物面積910.8㎡・鉄骨及び膜構造・2面）</li> <li>・当別小学校水泳プール完成（全面改築・総工事費2億3,460万円・建物面積1,103㎡・規模：一般用25m×17m、低学年用 他）</li> <li>・学校週5日制スタート</li> </ul>
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別町学校体育施設開放事業開始</li> </ul>
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別川河川緑地パークゴルフ場完成（18ホール、現在の当別町フラワーパークゴルフ場）</li> <li>・当別町東裏地域会館完成（工事費3,700万円・建物面積244㎡・調理実習室、和室、大会議室、研修室）</li> </ul>
7年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別町学校給食センター完成（工事費8億3,039万円・鉄筋コンクリート・鉄骨造・ドライシステム、8年1月より全13校で給食開始）</li> <li>・少年の国内研修事業、婦人の国内研修事業開始</li> </ul>
8年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小屋小学校が火災により焼失</li> </ul>
9年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西当別コミュニティーセンター完成（工事費9億5,795万円・敷地面積4,949㎡・建物面積2,068㎡・鉄筋コンクリート造・アリーナ、大会議室、会議室、研修室、和室、調理室、図書室）</li> <li>・当別町中学校開校50周年記念式開催</li> </ul>
10年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小屋小学校新校舎完成（工事費3億576万円・総床面積1,105㎡・普通教室3、特別教室2、多目的ホール）</li> </ul>
11年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別町生涯学習推進計画策定</li> <li>・当別町公民館世紀分館改築（工事費3,150万円・総床面積182.25㎡・集会室2室、洋室、和室、厨房）</li> </ul>
12年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青山中央小中学校を閉校し弁華別小学校、弁華別中学校に統合（宿泊研修施設「青山交流館」として供用開始）</li> <li>・当別町青山中央プール廃止</li> </ul>
13年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別町適応指導教室設置</li> <li>・学校評議員制度開始</li> <li>・当別町少年指導センターを子どもハウス内に移転</li> </ul>
14年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別町子ども議会開催</li> <li>・当別町歴史ボランティア設置</li> </ul>

年 号	で き ご と
平成15年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省モデル地域事業「NP0等と学校教育との連携の在り方」についての実践研究事業実施（15～16年度）</li> <li>・伴静江奨学金制度廃止</li> <li>・当別町少年指導センターを当別町公民館内に移転</li> <li>・当別町東裏地域会館を地域集会施設として財政課に移管</li> <li>・当別町南部地域会館を地域集会施設として財政課に移管</li> <li>・当別町第2プール廃止</li> <li>・当別町東裏プール廃止</li> <li>・当別町中小屋プール廃止</li> </ul>
16年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川下小学校を閉校し当別小学校に統合</li> <li>・文部科学省地域子ども教室推進事業 当別町地域子ども教室「サタデーキッズスクール」開始</li> <li>・当別町第2次生涯学習推進計画策定</li> </ul>
17年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小屋中学校を閉校し当別中学校に統合</li> <li>・当別町文化賞制定</li> </ul>
18年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小屋小学校を閉校し当別小学校に統合</li> <li>・当別幼稚園と鉄北幼稚園を統合（鉄北幼稚園の園舎を使用し園名は当別幼稚園）</li> <li>・当別中学校、弁華別中学校が「北海道キャリア教育実践プロジェクト指定地域」（18年度）となる</li> <li>・国立教育政策研究所委嘱事業「小・中連携教育実践研究事業」実施（18～19年度、西当別小・西当別中）</li> <li>・子ども待機スペース交流活動推進事業「オアシス」開始</li> </ul>
19年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別町弁華別プール廃止</li> <li>・蕨岱小学校を閉校し当別小学校に統合</li> <li>・当別町西当別プール廃止</li> <li>・旧農村環境改善センターを転用し白樺コミュニティセンターとして設置</li> <li>・当別町少年指導センターを当別町総合体育館内に移転</li> <li>・当別町青少年会館をプレイハウスとして子育て推進課に移管</li> <li>・弁華別中学校が(社)国土緑化推進機構主催平成18年度全日本学校関係緑化コンクール「学校林等活動の部」農林水産大臣賞受賞</li> <li>・公民館図書室を当別町学習交流センター（旧当別町青少年センター）へ移転し“ふくろう図書館”として開設</li> <li>・当別町公民館及び開拓郷土館廃止</li> <li>・当別町特別支援教育推進サポート組織設置</li> <li>・「子どもの健全育成サポートシステム」開始</li> </ul>
20年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東裏小学校を閉校し当別小学校に統合</li> <li>・当別町少年指導センターを白樺コミュニティセンター内に移転</li> <li>・当別総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会発足</li> <li>・地域子ども教室「わくわくキッズ」開始</li> <li>・当別町学校支援地域本部事業開始</li> </ul>
21年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別町総合体育館アリーナ床補修工事</li> <li>・当別町女性団体連絡協議会創立40周年記念式典挙行</li> <li>・第3次当別町生涯学習推進計画策定</li> <li>・白樺コミュニティセンター多目的ホール床等改修工事</li> <li>・当別町文化協会創立40周年記念式典挙行</li> <li>・当別小学校水泳プール改修工事</li> </ul>
22年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別町体育協会創立50周年記念式典挙行</li> <li>・当別総合型地域スポーツクラブ設立</li> <li>・当別町子どもの読書活動推進計画（5ヵ年計画）策定</li> <li>・当別町140年記念式典及び記念諸行事開催</li> <li>・当別小学校校舎・当別中学校校舎及び体育館・西当別中学校体育館耐震補強工事</li> <li>・町内各小学校でフッ化物洗口事業を開始（1年生から年度毎に1学年ずつ拡大）</li> </ul>
23年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町立当別幼稚園を閉園し園舎を解体</li> <li>・社会福祉法人高陽福祉会が認定こども園当別夢の国幼稚園を開園</li> <li>・適応指導教室を白樺コミュニティセンターに移転</li> <li>・当別町家庭教育の手引き発刊</li> </ul>
24年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別小学校体育館落成（工事費2億8,896万円・総床面積983㎡・鉄骨造一部鉄筋コンクリート造・アリーナ、ステージ、器具庫3室、放送室、トイレ、更衣室、昇降口、渡り廊下）</li> <li>・栄町教職員住宅解体工事</li> <li>・当別町立小・中学校で2学期制を導入</li> <li>・当別プレイハウスが当別小学校内に移転</li> </ul>

年 号	で き ご と
平成24年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別中学校音楽教室外壁が体育館からの落雪により破損し、同年修繕</li> <li>・弁華別中学校屋内体育館屋根が強風により破損し、同年復旧</li> </ul>
25年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「当別音頭」を当別町無形文化財に指定</li> <li>・西当別中学校教員住宅解体</li> <li>・当別小学校北校舎トイレ改修工事</li> <li>・当別中学校トイレ改修工事</li> <li>・西当別中学校屋内体育館大規模改修工事</li> <li>・西当別中学校給水設備改修工事</li> </ul>
26年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4次当別町生涯学習推進計画策定</li> <li>・教育委員会管理課に一貫教育推進係を新設</li> <li>・土曜学習会の開始</li> <li>・西当別プレイハウスが西当別小学校内に移転</li> <li>・西当別小学校の重油配管から油漏洩、同年配管を改修</li> <li>・当別町いじめ防止基本方針策定</li> </ul>
27年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別町小中一貫教育に関する取組基本方針策定</li> <li>・当別町子ども発達支援センター完成</li> <li>・当別町子どもの読書活動推進計画（第2次計画）策定</li> <li>・家読の日を制定（毎月23日）</li> <li>・町内各小学校のフッ化物洗口事業を1年生から6年生まで実施</li> <li>・放課後学習会の開始</li> <li>・文部科学省委託事業「小中一貫教育推進事業」実施（平成27～29年度）</li> </ul>
28年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弁華別小学校を閉校し当別小学校に統合</li> <li>・弁華別中学校を閉校し当別中学校に統合</li> <li>・当別町社会体育施設（当別町総合体育館、白樺コミュニティーセンター、当別小学校水泳プール）に指定管理者制度を導入</li> <li>・教育委員会事務局に子ども未来課を新設し、就学前の子どもに関する業務を福祉部から移管</li> <li>・教育委員会社会教育課に町史編纂係を新設</li> <li>・当別町いじめ問題調査委員会条例制定及び設置</li> <li>・町内各中学校でフッ化物洗口事業を開始（1年生から年度毎に1学年ずつ拡大）</li> <li>・西当別小学校教員住宅解体（2棟2戸）、弁華別小学校教員住宅解体（2棟2戸）</li> </ul>
29年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(有)鋼管工業から120万円の目的寄付があり、西当別中学校のバスケットボードを改修</li> <li>・中学校併設型小学校及び小学校併設型中学校として小中一貫教育の実施（当別小学校－当別中学校、西当別小学校－西当別中学校）</li> <li>・当別町通学路安全推進連絡会議設置要綱制定及び設置</li> <li>・当別・西当別両中学校区で学校運営協議会発足</li> <li>・「こころのふれあい通学合宿」が文部科学大表彰受賞</li> <li>・西当別小学校校舎屋根改修工事（工事費19,980千円、設計額626千円、昭和57年築校舎、木軸屋根→無落雪屋根）</li> <li>・各小学校の3～6年生へデジタル教科書を配置（国語、算数）</li> </ul>
30年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会管理課を学校教育課に改称</li> <li>・西当別小学校屋内体育館屋根改修工事（工事費19,762千円、設計額4,644千円）</li> <li>・当別町一体型義務教育学校基本設計</li> <li>・小学校外国語授業完全実施（新学習指導要領対応）</li> <li>・I C T機器（電子黒板、書画カメラ等）全校全学級へ配置完了</li> </ul>
令和元年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別町一体型義務教育学校地質調査業務委託（15,660千円）</li> <li>・当別町一体型義務教育学校測量業務委託（5,886千円）</li> <li>・西当別小学校屋内体育館改修工事（33,761千円）</li> <li>・町立ふとみ保育所を廃止し、社会福祉法人高陽福祉会が認定こども園おとぎのくにを開園</li> <li>・教育委員会社会教育課文化財・町史編纂係が文化財保護係に改称</li> <li>・当別町義務教育学校開校準備委員会及び教育課程編成委員会設置</li> <li>・当別町一体型義務教育学校基本設計義務教育学校実施設計（128,700千円）</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別町図書館及び西当別分館設置</li> </ul>

## ➤ 7 統計データ

### (1) 小中学校施設の概況

学校名	校舎構造	校舎面積 (㎡)	屋体面積 (㎡)	校地面積 (㎡)	校舎建設年	屋体建設年
当別小学校	R	4,922	983	20,967	昭和46年	平成24年
西当別小学校	R	4,351	702	15,789	昭和57年	昭和58年
小学校合計		9,273	1,685	36,756		
当別中学校	R	4,234	950	43,310	昭和44年	昭和44年
西当別中学校	R	3,839	678	28,749	昭和55年	昭和54年
中学校合計		8,073	1,628	72,059		
小中合計		17,346	3,313	108,815		

※R：鉄筋コンクリート造

### (2) 児童生徒数の推移

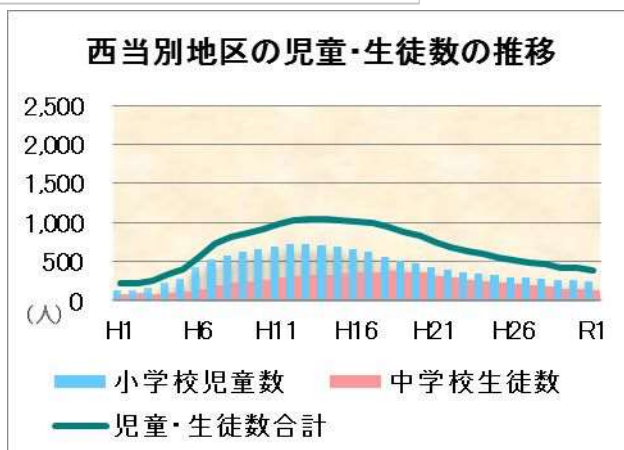
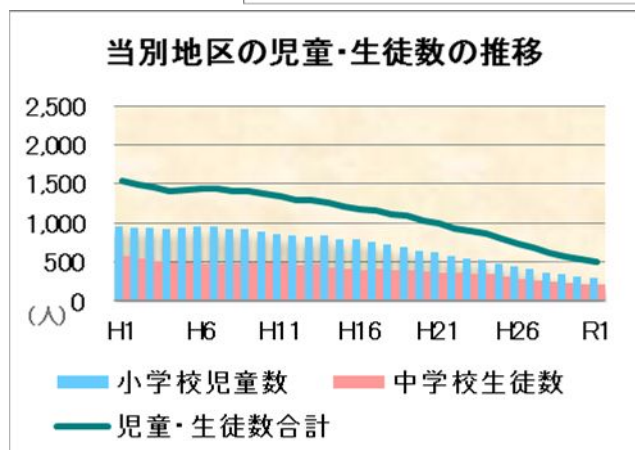
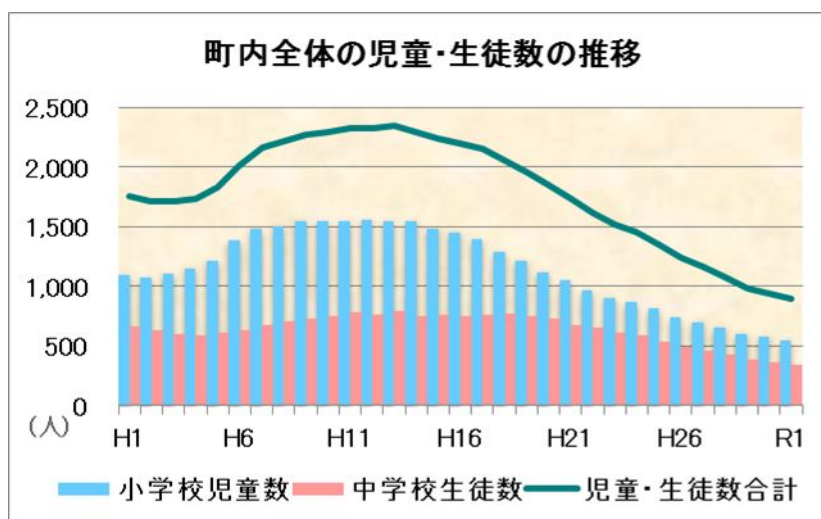
#### ◆ 小学校児童数

年度	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
28	103	104	91	114	110	128	650
29	72	107	105	90	114	111	599
30	78	72	109	111	91	117	578
R1	73	80	81	108	115	95	552
2	68	73	83	81	106	115	526

#### ◆ 中学校生徒数

年度	1年	2年	3年	計
28	131	138	161	430
29	119	132	136	387
30	108	119	135	362
R1	115	108	119	342
2	96	114	110	320

各年5月1日現在（単位：人）





### (3) 各学校統合年の一覧

#### ◆ 小学校

	学校名	設置年	統 合 年 一 覧	
当別小学校	当別小	M6		
	東裏小	M35	H20	
	蕨岱小	M44	H19	
	中小屋小	M33	H18	
	川下小	M37	H16	
	金沢小	M32	H1	
	材木沢小	T4	S40	
	弁華別小	M25	H28	
	青山小	M34	S50	
	青山中央小	M34	H12	
	二股小	M41	S50	
	四番川小	M42	S48	
	三番川小	M42	S46	
	西当別小	S26		
西当別小学校	太美小	M29	S26	
	獅子内小	M33	S26	
	当別高岡小	M34	H3	

#### ◆ 中学校

	学校名	設置年	統 合 年 一 覧	
当別中学校	当別中	S22		
	中小屋中	S22	H17	
	弁華別中	S22	H28	
	青山中央中	S22	H12	
	二股中	S28	S48	
	三番川中	S28	S46	
	四番川中	S22	S42	
西当別中学校	西当別中	S22		
	当別高岡中	S25	S43	

(4) 就学援助の状況（過去3ヵ年の推移）

（単位：人・千円）

年度 区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
新小学校 1年生	対象人数	8	9	12
	援助総額	325	455	612
小学校	対象人数	110	111	97
	援助総額	7,680	7,536	6,837
新中学校 1年生	対象人数	22	23	14
	援助総額	1,043	1,320	840
中学校	対象人数	59	69	61
	援助総額	7,182	7,444	6,846
計	援助総額	16,230	16,756	15,136

\* 新小学校・新中学校1年生に対する新入学準備金は、平成29年度より実施。

(5) 特別支援教育就学奨励費の状況（過去3ヵ年の推移）

（単位：人・千円）

年度 区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
小学校	対象人数	9	8	8
	支給総額	236	220	254
中学校	対象人数	7	4	2
	支給総額	353	211	77
計	対象人数	16	12	10
	支給総額	589	432	332

(6) 特別支援学級等通学援助費の状況（過去3ヵ年の推移）

（単位：人・千円）

年度 区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
小学校	対象人数	40	55	49
	支給総額	287	313	275
中学校	対象人数	10	7	5
	支給総額	60	42	30
計	対象人数	50	62	54
	支給総額	347	355	305

(7) コミュニティーセンター・文化施設等及び体育施設利用状況

白樺コミュニティセンター

年度\区分	小研修室	調理実習室	多目的ホール	大研修室	和室 1	和室 2・3	談話室	計	
29	件数	272	39	694	160	216	116	2	1,499
	人数	3,298	632	11,427	3,347	1,573	863	10	21,150
30	件数	300	61	639	184	210	123	2	1,519
	人数	3,817	1,000	11,081	3,651	1,409	1,014	20	21,992
R 1	件数	257	61	645	191	184	92	2	1,432
	人数	3,135	814	10,311	3,887	1,190	704	8	20,049

西当別コミュニティセンター

年度\区分	アリーナ	大会議室	和室	研修室	調理室	会議室	他（見学）	計	
29	件数	908	405	127	246	77	376	0	2,139
	人数	19,516	17,028	3,333	4,075	1,191	3,368	0	48,511
30	件数	930	361	221	229	63	362	0	2,166
	人数	18,279	10,437	2,753	3,666	829	3,182	0	39,146
R1	件数	860	374	246	213	67	330	2	2,092
	人数	17,284	11,805	4,597	5,476	3,070	4,505	10	46,747

当別町図書館

年度	貸出実績(冊)			利用者数			蔵書数		
	一般	児童	計	一般	児童	計	一般	児童	計
29	12,237	9,560	21,797	4,581	821	5,402	10,657	9,050	19,707
30	11,039	10,584	21,623	4,305	1,008	5,313	11,419	9,357	20,776
R1	9,421	9,069	18,490	3,688	715	4,403	11,862	9,650	21,512

※令和元年度までは「当別町学習交流センターふくろう図書館」

当別町図書館西当別分館

年度	貸出実績(冊)			利用者数			蔵書数		
	一般	児童	計	一般	児童	計	一般	児童	計
29	11,093	10,337	21,430	4,234	1,169	5,403	9,069	8,483	17,552
30	11,021	10,950	21,971	4,493	1,114	5,607	9,785	8,935	18,720
R1	10,031	11,694	21,725	3,983	1,124	5,107	10,203	9,207	19,410

※令和元年度までは「西当別コミュニティセンター図書室」

## 世紀会館

年度\区分		洋室	集会室A	集会室B	和室	計
29	件数	145	163	97	5	410
	人数	855	1,602	878	21	3,356
30	件数	62	176	75	2	315
	人数	370	1,706	669	15	2,760
R1	件数	30	121	14	7	172
	人数	135	1,658	428	18	2,239

## 当別伊達記念館・伊達邸別館

年度	人数
29	1,592
30	1,439
R1	1,514

## 当別町総合体育館

年度\区分		アリーナ	格技場	弓道場	トレーニングルーム	ランニングコース	計
29	件数	1,337	668	254			
	人数	49,757	9,993	3,402	9,444	4,775	77,371
30	件数	1,322	440	221			
	人数	42,125	10,114	3,543	9,366	4,410	69,558
R1	件数	1,127	384	251			
	人数	40,453	10,296	2,797	9,999	4,619	68,164

※トレーニングルーム、ランニングコースは個人利用のみ

(8) 子ども発達支援センター利用状況

年度\区分		児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	障害児相談支援	特定相談支援
29	人数	35	6	6	41	1
	件数	1,190	173	27	-	-
30	人数	33	7	4	49	0
	件数	1,124	274	11	-	-
R1	人数	26	10	5	47	0
	件数	921	329	24	-	-

(9) 私立幼稚園助成費

【対象施設：学校教育法に基づく私立幼稚園（※新制度に移行した幼稚園を除く）】

(ア) 就園奨励費補助金

補助金の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
対象幼児数	1	1	1
補助金交付額	80	272	122

(10) 教育・保育施設等助成費

【 対象施設：子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園・保育園・認定こども園 】

(ア) 施設型給付費

施設型給付費の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

年度 区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
教育	対象児童数	139	130	162
	給付額	71,383	70,532	116,712
保育	対象児童数	80	88	178
	給付額	76,461	86,540	172,662
計	対象児童数	219	218	340
	給付額	147,844	157,072	289,374

(イ) 特別保育事業補助金等

補助金等の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

年度 区分		平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	令和元年度	
延長保育事業	実施施設数	2	2	2	
	対象児童数	60	69	54	
	補助金交付額	667	710	707	
障がい児 保育事業	教育	対象児童数	5	7	4
		補助金交付額	4,819	5,498	3,988
	保育	対象児童数	5	2	3
		補助金交付額	8,945	3,958	5,916
	計	対象児童数	10	9	7
		補助金交付額	13,764	9,456	9,904
一時預かり事業 (一般型)	実施施設数	1	1	1	
	対象児童数	29	14	17	
	補助金交付額	2,525	1,816	1,649	
一時預かり事業 (幼稚園型)	実施施設数	1	1	2	
	対象児童数	65	63	85	
	補助金交付額	2,474	2,771	5,791	

令和2年度  
当別町の教育

令和2年6月発行  
編集・発行：当別町教育委員会